

若者の参入促進 のための取組

若者の参入促進のため特に工夫している点

都道府県	工夫している点
青森県	○進路指導担当者向けの意見交換会では、高校OB・OGによるプレゼン、事業所によるプレゼンなど、現場の生の声を聞いていただくようにしている。
岩手県	目を引き、親しみやすい内容となるよう、県内在住の漫画家を起用してマンガによる表現を取り入れた番組としている。 (岩手朝日テレビ 番組HP: http://www.iat.co.jp/blog/kaigo/)
宮城県	パンフレットと同時に、映像ツール版を作成し、介護施設のHPや動画サイトなどで視聴可能とすることで、幅広い世代に介護の魅力アピールすることを目的としている。
秋田県	H28年度事業として、高校生等を対象とする介護の職場体験の実施を予定しており、前年度からの介護イメージアップ小冊子の配布により県内高校との連携を深め、職場体験の参加者の確保につなげる。
茨城県	・児童生徒が親しみやすい介護施設の若手職員(OB・OG)が学校を訪問し、福祉介護の仕事のやりがいや魅力について説明してもらう。 ・福祉の仕事が様々な分野に広がりを見せていることを説明。その中でセラピーロボット「パロ」についての話をし、併せて実物を示し、触れてもらう体験を取り入れている。
栃木県	・介護の仕事のわかりやすく紹介するマンガを作成している。 ・前もって講座前にマンガを配布し、講座の中でマンガの感想を聞いている。 ・出前講座の実施校で卒業生が介護職に就いている場合は、卒業生に講師を依頼している。
群馬県	小学生・中学生向けの介護職PRパンフレットについては、親しみやすさを重視。
埼玉県	県内の介護事業所に勤務する若手介護職員を「介護の魅力PR隊」隊員に知事が任命し、若手介護職員が直接、仕事の魅力を積極的に発信することにより介護職のイメージアップを図っている。
千葉県	介護福祉士養成施設が中心となって高齢者疑似体験等を実施している。
東京都	<DVDの配布> ①保護者・教職員の理解促進のため、独自調査を用いた給与の実態の説明や、働きやすい職場環境の紹介等を行うことで、マイナスイメージの払しょくを図る ②授業で活用してもらえるよう都内全中学・高等学校に配布する予定 <職場体験事業、介護職員初任者研修資格取得支援事業> 土日や夏休み等、学生が事業を利用しやすい日程で各事業を実施
神奈川県	ガイダンス等は、キャリア支援専門員による対象者の年齢等に応じた福祉の仕事の説明と、介護施設等の協力を得て、対象者の年齢に近い若手職員からの経験談等を組み合わせて実施している。 ガイダンス、啓発冊子やリーフレット等を含め、福祉・介護の仕事について、現場の職員が感じている仕事のやりがいや仕事に対する誇りという部分を、生の声で伝えてもらうよう工夫している。
新潟県	<出前授業について> 車イス乗車体験や杖を使った歩行体験をしてもらう <広報活動について> 介護の仕事のやりがいや魅力、将来性など介護職の理解を深めてもらうことを目的に3分程度の動画を作成
石川県	高校生等により効果的に伝わるように、講話経験の豊富な職員を選定し、プレゼンテーション研修を実施した上で、派遣を実施
福井県	高校生職場体験では、半日体験コースと一日体験コースの二つのコースを設けて、ちょっと体験したい人とじっくり体験したい人、双方のニーズを満たせるようにしている。 教育実習のカリキュラムで介護実習が必修となっているが、実習に行く学生に対して介護の仕事の説明を行うことでその重要性や魅力を理解してもらい、将来進路指導をする時のために、介護職への良いイメージを持ってもらうようにしている。また、実習生を受け入れる施設に、介護の仕事の魅力が伝わるような実習をしてもらうよう依頼している。
山梨県	福祉の仕事については、きつい仕事、資格がなければ就けない仕事といったイメージがあることから、県内高校の進路指導担当教員に対し、実際の現場職員等に講義を行ってもらい、イメージアップを図るセミナーを開催している。 本年度は、県内各高校の進路指導担当者に直接電話連絡を行った結果、昨年度の3倍近い参加者を得ることができたことから、今後、高校生に対するイメージアップ事業について担当教員に直接働きかけ、事業展開を図っていきたい。

若者の参入促進のため特に工夫している点

都道府県	工夫している点
長野県	<ul style="list-style-type: none"> ◆訪問講座の講師の選定については、受講する生徒が5年後・10年後の自分を想像し重ねられるよう、介護職の若手職員を中心に選定。 ◆私たちににとっては「人材確保」だが、受講する生徒にとっては職業選択と言う人生の大きな選択である。あくまでも「進路選択の幅を広げてもらう」という観点が抜け落ちる事のないよう心がけている。 ◆広く一般県民へ介護の理解促進を図るため、介護の日における地元新聞紙全面広告及び年3回の月刊情報誌への広告掲載を実施。
岐阜県	<ul style="list-style-type: none"> ・夏休みのちょっとしたイベントとして親子で参加しやすいため、夏休みにバスツアー方式で職場体験を行っている。 ・進路担当の先生に制度を一番認識してもらいやすい時期とのことから、教育委員会主催の進路指導主事担当者会議の際に修学資金貸付事業の案内を行っている。 ・普段より多くの方に介護の仕事への理解を深めるきっかけとしてもらえるよう、「介護の日」PR週間に「ふくしのお仕事体験フェスタ」を開催している。
静岡県	<ul style="list-style-type: none"> *「介護の未来ナビゲーター」として、県知事が委嘱。 ・上表の各対象をはじめ広く県民に介護の仕事の魅力を情報発信するイベント「ふじのくにケアフェスタ」を例年9月に開催。（介護技術コンテスト、介護ロボットや福祉用具の展示、介護施設、職能団体、福祉系大学等のブース出展ほか） ・県教育委員会・県私学協会と連携して学校に出前授業の周知を行い、キャリア教育（授業）における活用を依頼。
三重県	<p>市町社会福祉協議会や教育委員会へも訪問し、セミナー活用の案内をしている。</p> <p>これまで開催したセミナーの内容を説明し、具体的な活用方法が描けるようにしている。</p> <p>職場体験事業の活用も案内している。</p>
滋賀県	<p>県内全公立中学で実施している5日間の職場体験「中学生チャレンジウィーク」において、介護事業所における実習を推進するため、教育委員会の担当者会議において実習受入れ施設の連絡先を提供。</p>
京都府	<ul style="list-style-type: none"> ・きょうと介護・福祉ジョブネット(プラットフォーム)のプロジェクトチームでの検討結果をもとに、委託事業等を企画実施している。
大阪府	<ul style="list-style-type: none"> ・小学生・中学生が親しみやすいよう、福祉関連の企業(工場)見学をスケジュールに組込むことで、楽しく学べるよう企画 ・進路指導担当者の理解促進のため、大手求人サイトとコラボし、他産業との比較などエビデンスベースの広報を実施
兵庫県	<p>県社会福祉協議会、県老人福祉事業協会、県介護老人保健施設協会に委託し、現場のニーズに即した事業を展開。</p> <p>小・中学生に親しみを持ってもらうため、若手介護職員が総合学習の時間等にDVD等を活用した説明を行う。</p> <p>現場を理解してもらうため、就職説明会参加者を優先的に施設見学ツアーに招待。</p> <p>広く介護職員のイメージアップを図るため、ソーシャルメディアを中心とした情報発信・就職情報を提供。</p>
奈良県	<p>福祉の仕事を少しでも身近に感じてもらうため、中学校・高等学校でのセミナーの説明者は、学校の近隣施設の若手職員を中心に人選を行っている。</p>
和歌山県	<p>介護の仕事についてのイメージアップを図るため、高校生、その保護者及び教師が介護の仕事についてどのようなイメージを抱いているか等についてアンケート調査を行い、学生向けのイメージアップ冊子を作成中である。</p>
鳥取県	<p>県教育委員会や私学担当課と連携し、事業を周知している。</p>
島根県	<p>対象となる生徒、学生に近い年齢の介護福祉士養成校の学生(中・高校の生徒に向けて)、若手介護職員(介護福祉士養成の学生に向けて)が段階的に介護の魅力を伝えることにより、就職、進路選択時に介護を選択されるような取り組みを行っている。</p> <p>介護福祉士養成校の行う介護の魅力発信事業は、各校の自主性、地域性を尊重し自由な発想で行ってもらっている。(例:ショッピングモールでの開催、地域の祭りでの開催など)</p>
岡山県	<p>介護福祉士の若手職員とベテラン職員とのペアで学校を訪問。若手が仕事のやりがいについて語り、ベテランが嚆下対策のとりみ剤の実験を行い、介護の仕事の個々の高齢者に応じた細やかな対応について説明している。</p>
広島県	<ul style="list-style-type: none"> ・広島県福祉・介護人材確保等総合支援協議会(H24設置)をプラットフォームとし、協議会の組織である3部会のひとつの「情報提供・啓発部会」を中心に理解促進に係る取組を図っている。また、これらの取組を地域組織(協議会市町版)と連携を図り、地域からの取組みを併せて展開を図る。(地域組織(協議会市町版):H27:3市町地域、H28:5市町地域)
徳島県	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉就職ガイダンス及びフェアに関して、事業所の参加のもと、「就職ガイダンス報告検討会」を開催し、改善・進化できるよう「オール徳島」による福祉人材確保の取組として研究を進めている。 ・若者向け交流イベントについては、発信力のあるイベントを実施するため、プロポーザルにて企画提案を募集。
香川県	<p>DVDについては、中高生などの若年層が、あまり接する機会のない介護の仕事について、親しみやすくわかりやすい内容とするため、若手の介護職員の一日の仕事の様子を紹介することを中心としたオリジナルの作品を作成した。</p> <p>県下全中学校・高等学校に配布するとともに、県ホームページからも視聴が可能となっており、保護者を含めた県民全体への情報発信も行っている。</p> <p>上記のほか、高校教育課が開催するジョブサポートティーチャーの連絡会や、私立高校の校長会などに出席し、介護の仕事や介護福祉士等修学資金について説明する機会を持つようにしている。</p>

若者の参入促進のため特に工夫している点

都道府県	工夫している点
愛媛県	巡回型教室：仕事としての介護の中身、魅力を伝えられるよう、介護施設職員、大学、介護機器事業者が連携して実施 DVD：中高生が飽きずに見続けることができるような面白さのある構成・内容で作成 パスツアー：実際の介護現場を多面的に知ってもらうため、多様な職種の職員から話を聞いたり、高齢者と同じ食事をする等の体験を実施 魅力発見セミナー：高校生等が興味を持てる分野が見つかるように、多様な福祉関係職種の紹介ブースを用意
高知県	従来作成していたパンフレットから内容を全面刷新した冊子（※印）は、手にとって見てもらいやすいように、写真を多用しサイズをコミックスするとともに、介護の仕事は、地元で長く働ける仕事であることを強調した。
熊本県	・出前講座においては、身近で親しみやすい方の講話にするため、周辺地域の福祉施設の若手職員に訪問を依頼している。また、講話いただいた方の話を掲載したパンフレットを作成し、県内中学校に配布することで更なる事業のPRを図っている。 ・学生と福祉施設職員の座談会においては、話しやすい雰囲気づくりのため小規模の人数で行っており、学生の直接の声を聴いていただくため、オブザーバーとして施設長等にも参加いただいている。
宮崎県	・出前講座の講師として介護施設等に依頼する際は、若手職員（20代）で、学校のある地域に関連のある方をお願いしている。 ・出前講座や学校訪問については、県教育委員会等とも連携を図り案内を行っている。
鹿児島県	各事業間の連携を図り、蓄積した情報やノウハウを有効活用した展開を図っている。 例) キャリア支援専門員による求職者への各事業のPR活動、学校と介護事業所との交流のコーディネート等 例) 「福祉・介護の仕事ガイドブック」の有効活用（各事業参加者への配布、多方面からの中・高校生へのPR等）

小学生・中学生に対する理解促進・魅力発信の取組事例

都道府県	工夫している点	参考項
北海道	・介護に関する理解を深め、興味・関心を高めるため、介護等に関する有識者をアドバイザーとして派遣し、講習会や体験学習等を実施。(29校で実施)	
青森県	出前講座の実施(4校訪問)	
岩手県	出前講座:H26年度(6校、412名)H27年度(12校、458名) (県民全般に向けて) 介護の仕事の魅力を発信するテレビ番組の制作・放送	
宮城県	中学3年生を対象とした、介護のイメージアップを図るパンフレットを作成中。	
秋田県	中高生向け介護体験セミナーの開催	
山形県	認知症サポーター養成(県補助事業)	
福島県	・近隣住民等を招いての、高齢者に優しい食事・負担のかからない介護方法等の講演や施設見学 ・地域住民を対象にした介護の仕事の体験会を実施	
茨城県	・福祉キャラバン隊(36校(小学校:34校、中学校:2校)に訪問、福祉介護の仕事、やりがい等について説明) ・福祉の魅力発見ツアー(施設見学、福祉に関連した体験)	105
栃木県	中学校 6校に出前講座実施	
群馬県	県介護福祉士養成校協議会が行う出前講座(12校(予定))、県老人福祉施設協議会が行う出前講座(22校(予定))、介護職PRパンフレットの配布(小学5年:20, 210部、中学1年:19, 990部)等	106
埼玉県	○県内企業の優れた技術や仕事ぶり(介護分野を含む)を収めたキャリア教育用DVDを作成し (H25年度末作成)、中学校の総合的な学習の時間等において活用	
千葉県	介護福祉士養成施設等が42校に訪問、福祉教育指定校6校(小学校)にDVDを配布	
東京都	①フクシの魅力☆発見セミナー:養成施設を活用したセミナー(中高生向け14回実施) ②福祉職場普及啓発DVDの配布(年度末完成予定) ③福祉の仕事なんでもセミナー:中学・高校に対する福祉の仕事に関する出前授業(28年1月現在 3校予定)	109
神奈川県	学校授業(中学)および夏休みボランティア体験等(中高生)の場を借りたガイダンスの実施、中学生向けの啓発リーフレット作成(予定)	
新潟県	出前授業、広報活動を実施	134
富山県	小学校親子バス教室(2回)、中学校への出前講座(13回)	135
福井県	小中学校への出前講座や介護施設での職場体験の実施。介護の理解促進のための冊子を配付。 (H27.12末時点実績 学校訪問説明14校計687名参加・職場体験4校計165名参加)	
長野県	小学生:◆県庁見学子ども記者体験(3校26人) 中学校:◆訪問講座実施(2校5講座開催311名受講)◆啓発冊子配布(県下197校)	140
岐阜県	出前授業及び中学生のためのガイドブック配布(20校)、親子職場体験バスツアー(6か所、9回) 介護人材参入促進事業 ふくしのお仕事体験フェスタ	
静岡県	・夏休み小学生親子施設見学バスツアーを開催(県内6コース) ・福祉職のイメージ向上を図るため、出前授業「福祉のお仕事魅力発見セミナー」を実施 (小学校:39講座/18校、中学校:84講座/35校)	
三重県	中学校24校に訪問、セミナー開催9回	
滋賀県	●福祉のお仕事出前講座(小学4～6年生対象):福祉施設で働く職員と一緒に、「仕事・働く場所」という切り口から「福祉」の話や車いす等の体験をして、福祉のお仕事を楽しく伝えます。 H27:5校	

小学生・中学生に対する理解促進・魅力発信の取組事例

都道府県	工夫している点	参考項
京都府	次世代の担い手育成事業(9校、425名)、合同発表会(受入れ施設の若手職員と子どもたちのパネルディスカッション)、職業体験協力施設との意見交換会(参加者32名)	
大阪府	福祉分野が将来なりたい職業となるよう、高齢者施設と福祉に関連する企業(工場)などと合わせて見学するなど親子バスツアー等を開催(平成28年度から実施予定)。	
兵庫県	県内9圏域(神戸圏域を除く)に配置したイメージアップ専門員(若手介護職員)が公立中学校・県立高校を訪問し、総合的な学習の時間等に生徒に対して介護業務の理解促進を図る(90校訪問予定)。介護業務の一日や職員の声をまとめたDVD・パンフレットを配布(DVD350枚、パンフレット30万枚配布予定)。	
奈良県	中学生・高校生に対し、施設・事業所の職員による福祉・介護の仕事の内容ややりがいなどを説明するセミナーの実施(3校で実施)	
和歌山県	出前講座(福祉施設職員による授業) 小学校4校、中学校5校に訪問	
鳥取県	・中学生・高校生を対象に介護の仕事体験事業を実施(中学生:35名参加) ・中学生の介護ロボット体験事業を実施(3校に訪問、約210名参加)	
島根県	夏休み介護の職場体験事業、介護の魅力発信事業(介護福祉士養成校との共催)	
岡山県	出前授業6校に訪問(中学)	
広島県	・「介護の日」ポスター募集(実績:小学校405枚, 中学校359枚) ・学校訪問プチ講演会(実績:小学校20校, 中学校5校)	
山口県	職場体験:中学生46人が参加、中学2年生を対象に介護紹介のリーフレットを配布 介護の啓発のための映像制作(DVD貸出し、ネット上で動画配信等)	
徳島県	●コミュニケーションロボットや癒やし系ロボット、ロボットスーツを活用して、小中高校生向けに介護ロボット体験学習事業を実施。平成27年12月までに、11校を訪問。 ●福祉現場で活躍する人材を紹介する小冊子「VOICE24」を作成し、進路選択資料として活用していただくため、全小中高등학교へ配布した。	149
香川県	介護の仕事の魅力を伝えるDVDを作成し、県下全中学校に配布 「介護の仕事」出前授業:県内中学校5校6回実施 夏休みを利用した職業体験:県内中学生35人参加(春休みにも実施予定)	
愛媛県	介護の日に合わせ、福祉用具等を活用した巡回型介護教室を開催(4校を訪問)、教材用DVDを県内全中学校に配布(予定)、事業所見学・体験バスツアーの実施(中学生・保護者・教員が対象:3回実施)	150
高知県	福祉人材センターがキャリア教育として11校に訪問し、講演や施設との交流等を実施。 ※福祉の仕事の魅力を伝える冊子を全ての中学生(約19,000人)に配布。	
福岡県	中学生・高校生・大学生を対象に、「介護の仕事」に対する正しい理解を促進するための就業体験を開催	
長崎県	福祉介護のための基礎講座(H27:21回実施) 親子(教員を含む)対象の職場体験バスツアー(H27:延べ7回実施)	
熊本県	中学生向け出前講座(保護者も対象):県内16校 介護の魅力PRパンフレット作成(主に中1向け):24,000部 職場体験:254人(のべ796日)	153
大分県	【子どものための福祉講座】 (事業内容)車いす、アイマスク体験等福祉の入門講座を実施 (事業実績)実施回数 57回、参加延人数 3,672人(平成27年12月末現在)	155
宮崎県	出前講座8校。小学生を介護施設に招き、介護現場の見学及び体験を実施。「介護のしごと」PRパンフレット作成中	161
鹿児島県	地域ジュニア福祉体験教室開催事業(学校訪問による高齢者疑似体験や車いす体験等を開催) 未来の福祉・介護担い手スタートアップ事業(小中高校生と介護職員等との相互訪問による交流)	169
沖縄県	18名(介護の日イベント)	

高校生に対する理解促進・魅力発信の取組事例

都道府県	工夫している点	参考項
北海道	・介護に関する理解を深め、興味・関心を高めるため、介護等に関する有識者をアドバイザーとして派遣し、講習会や体験学習等を実施。(29校で実施) ・介護の仕事の魅力を実感できるよう養成施設等が実施する就業体験等の活動に対する補助。(19団体に補助)	
青森県	福祉施設体験講習会(施設見学・職場体験)の実施(4回実施、高校生93名、保護者2名参加)	
岩手県	出前講座:H26年度(3校、217名)、H27年度(2校、54名) (県民全般に向けて) 介護の仕事の魅力発信するテレビ番組の制作・放送	
秋田県	福祉就職フェアの開催、中高生向け介護体験セミナーの開催、県内の高校1年生に介護イメージアップ小冊子配布	
山形県	介護現場の体験(県補助事業)、介護の魅力を伝える特別講座の開催(県補助事業)	
福島県	近隣住民等を招いての、高齢者に優しい食事・負担のかからない介護方法等の講演や施設見学 ・地域住民を対象にした介護の仕事の体験会を実施	
茨城県	福祉キャラバン隊(福祉介護の仕事、やりがい等について説明) 職場体験事業(47名参加、施設見学、介護体験、施設職員との意見交換) 進路選択学生等支援事業(養成校が各高校を訪問し、福祉の仕事、資格の取得方法等について説明)	
栃木県	高校 9校に出前講座実施	
群馬県	県介護福祉士養成校協議会が行う出前講座(12校(予定))、県老人福祉施設協議会が行う出前講座(22校(予定))、介護職PRパンフレットの配布(高校1年:18, 895部)等	106
埼玉県	○介護の魅力PR隊(県内の介護事業所に勤務する若手介護職員)による学校訪問等(平成26年度実績:59回訪問) ○出張介護授業(14校に訪問)(平成27年12月末現在)	
千葉県	介護福祉士養成施設等が1校に訪問	
東京都	①フクシの魅力☆発見セミナー:養成施設を活用したセミナー(中高生向け14回実施) ②福祉職場普及啓発DVDの配布(年度末完成予定) ③福祉の仕事なんでもセミナー:中学・高校に対する福祉の仕事に関する出前授業(28年1月現在 56校予定) ④職場体験事業(介護の仕事に関心のある学生等が、実際に介護施設等で現場を体験する) ⑤介護職員初任者研修資格取得支援事業(職場体験事業を体験した学生等に、無料の介護職員初任者研修を実施する) ※ ④、⑤の事業実施にあたり、チラシ等により周知活動を実施	109
神奈川県	県立高校全校1学年生徒にむけた啓発リーフレット配布、高校出張ガイダンスの実施、インターンシップ受入施設の把握と情報提供	118
新潟県	出前授業、職場体験、広報活動を実施	134
富山県	高校への出前講座(11回)、魅力体験バスツアー(4回)	
石川県	介護・福祉の仕事の魅力を伝える「伝道師」を委嘱し、派遣(7校)	
福井県	高校生や保護者、進路指導担当者を対象とした講演会や職場体験の実施。 (H27.12末時点実績 介護体験イベント20校84名参加・学校訪問説明4校計350名参加)	
山梨県	福祉のしごとセミナー 福祉の仕事についての実践者からの体験談、高齢者・障害者・児童の各分野実習学習、職場体験	137
長野県	◆訪問講座実施(13校28講座994名受講)◆啓発冊子配布(県下108校)	140
岐阜県	修学資金貸付事業個別案内(4校)、出前授業(3校) 介護人材参入促進事業 ふくしのお仕事体験フェスタ 介護情報ポータルサイト	

高校生に対する理解促進・魅力発信の取組事例

都道府県	工夫している点	参考項
静岡県	・福祉職のイメージ向上を図るため、出前授業「福祉のお仕事魅力発見セミナー」を実施(38講座/18校)	
愛知県	高校生・資格取得見込者向け施設見学会(バスツアー事業) 高校等10回実施 就職支援出張セミナー事業 2校で実施	
三重県	7校に訪問、セミナー開催6回	
滋賀県	●福祉の入門スクール :「福祉の仕事」の具体的な内容や魅力等を、現場職員に伝えて頂き、生徒の福祉や仕事への関心を高め、進路選択の一助とします。 H27:6校(8回) ●福祉職場体験 :高齢者福祉施設で1～5日間、福祉の仕事を体験します。H27:15人(延べ30日) ●高校訪問 :直接訪問して、進路指導担当者や教員、生徒に「福祉の仕事」への進路についての話をします。H27:延べ61校	
京都府	高等学校出前講座(5校訪問347名)、高校生インターンシップ(2校15名)	
大阪府	府内高等学校福祉科教員との連携により、福祉分野が進路の選択肢となるよう、高校生向けセミナーを開催(1回)。	
兵庫県	現場を直接体験する機会や施設見学会を実施(職場体験・施設見学450人予定) 合同就職説明会・就職相談会や特養に特化した就職フェアを開催(計8回予定)	
奈良県	高校生・大学生に対し、施設・事業所職員や利用者との交流を行う福祉・介護の職場見学ツアーの実施(9人参加)	
和歌山県	県内公立高等学校53校と特別支援学校12校に介護の仕事についてのアンケート調査を実施、職場体験(学校経由) 14人、出前講座 1校訪問、イメージアップ冊子作成(プロ漫画家のオリジナルなストーリー性のある漫画を主)	
鳥取県	中学生・高校生を対象に介護の仕事体験事業を実施(高校生:60名参加)	
島根県	夏休み介護の職場体験事業、「介護男子スタディーズ」全校配布、「高校生向け福祉の仕事ガイド」の配布、介護の魅力発信事業(介護福祉士養成校との共催、若手介護職員による介護の魅力発信イベントの共催)	
岡山県	出前授業1校に訪問	
広島県	・「介護の日」ポスター募集(実績:35枚) ・生徒・教員理解促進説明会(実績:教員219人、生徒10校749人)	
山口県	介護の啓発のための映像制作(DVD貸出し、ネット上で動画配信等)	
香川県	介護の仕事の魅力を伝えるDVDを作成し、県下全高等学校に配布 「介護の仕事」出前授業:県内高校3校実施 夏休みを利用した職業体験:県内高校生149人参加(春休みにも実施予定)	
愛媛県	介護の日に合わせ、福祉用具等を活用した巡回型介護教室を開催(1校を訪問)、教材用DVDを県内全高等学校に配布(予定)、事業所見学・体験バスツアーの実施(中学生・保護者・教員対象:3回実施)、福祉・介護の仕事魅力発見セミナーの開催(高校生以外も対象:1回開催)	150
高知県	・福祉人材センターが7校に訪問し、介護の仕事に関するセミナーを実施。 ・※介護の仕事の魅力を伝える冊子を全ての高校生(約13,000人)に配布。 ・福祉人材センターが、介護の仕事の種類や資格取得などの詳細情報を提供することで、職業選択肢の1つとして考えてもらうための冊子を高校1年生全員(約4,600人)に配布。(進路指導担当者にも配布) ・福祉系専門学校が、高校を訪問して介護の魅力を伝える活動を補助金で支援。	
福岡県	中学生・高校生・大学生を対象に、「介護の仕事」に対する正しい理解を促進するための就業体験を開催	
長崎県	福祉介護のための基礎講座(H27:21回実施) 親子(教員を含む)対象の職場体験バスツアー(H27:延べ7回実施)	
熊本県	学生と福祉施設職員等との地域座談会:10回 職場体験:254人(のべ796日)	

高校生に対する理解促進・魅力発信の取組事例

都道府県	工夫している点	参考項
大分県	【福祉・介護の出前講座】 (事業内容)福祉・介護の仕事について理解してもらうとともに、新たな人材として福祉分野への参入促進を図るための出前講座を実施 (実施状況)実施予定回数 33回／うち 実施回数 21回(平成27年12月末現在)	155
宮崎県	出前講座6校。職場見学バスツアー7名参加。福祉系高校に「介護の心」シンポジウム参加案内。「介護のしごと」PRパンフレット作成中	161
鹿児島県	「福祉・介護の仕事ガイドブック」の作成、配布	
沖縄県	144名、18校(学校訪問、職業講話)	

大学生に対する理解促進・魅力発信の取組事例

都道府県	工夫している点	参考項
北海道	・介護の仕事の魅力を実感できるよう養成施設等が実施する就業体験等の活動に対する補助。(19団体に補助)	
岩手県	(県民全般に向けて) 介護の仕事の魅力を発信するテレビ番組の制作・放送	
秋田県	福祉就職フェアの開催	
山形県	介護の仕事・資格取得に関するガイドブックの作成、配付(県補助事業)	
福島県	近隣住民等を招いての、高齢者に優しい食事・負担のかからない介護方法等の講演や施設見学 ・地域住民を対象にした介護の仕事の体験会を実施	
埼玉県	○介護の魅力PR隊(県内の介護事業所に勤務する若手介護職員)による学校訪問等(平成26年度実績:59回訪問)(再掲) ○就職支援講座(9回、大学で実施)(平成27年12月末現在)	
東京都	①介護のコト体験フェア:広く都民に対し、介護職の専門性をPRする普及啓発イベント。今年度は若年層を重点対象者に設定。総来場者数約1,100名。 ②職場体験事業(介護の仕事に関心のある学生等が、実際に介護施設等で現場を体験する) ③介護職員初任者研修資格取得支援事業(職場体験事業を体験した学生等に、無料の介護職員初任者研修を実施する) ※ ②、③の事業実施にあたり、チラシ等により周知活動を実施	112
神奈川県	大学就職担当者との名刺交換会への参加、出張ガイダンスの実施、若者むけの啓発冊子の作成	130
新潟県	就職フェア等、広報活動を実施	
石川県	介護・福祉の仕事の魅力を伝える「伝道師」を委嘱し、派遣(5校)	
福井県	大学生・進路指導担当者を対象とした訪問説明会の実施。 (H27.12末時点実績 学校訪問説明1大学29名参加・教員免許志願者介護等体験事前説明会における介護の仕事説明・体験2大学計164名参加)	
長野県	◆特段行っていない。(要請があれば対応可)※過去には実績有	
岐阜県	修学資金貸付事業、就職相談会(2校) 介護人材参入促進事業 ふくしのお仕事体験フェスタ 介護情報ポータルサイト	
静岡県	・県内若手介護職員(*)を県内大学に派遣して、介護の仕事の魅力を発信	
愛知県	就職支援出張セミナー事業 大学2校、専門学校1校で実施	
滋賀県	●大学訪問 : 大学、専門学校を訪問し、進路指導担当者に求人状況などを説明します。学校での就職ガイダンスや就職説明会の依頼にも応じています。H27: 延べ118校	
京都府	大学訪問(39校)、就職ガイダンス・出前講座(14校・19回・435人)、学内合同説明会(1回・53人)、就活サポートプログラム参加(41人)、府北部への実習誘致(5校・31人)、夏期インターンシップ(18校・82人)、春期インターンシップ(募集中)	142
大阪府	一般大学等へ福祉就職ガイダンスを行い、進路選択の参考に実際に介護職場を体験できる福祉の職場体験バスツアー等を開催	
奈良県	高校生・大学生・一般等の福祉・介護職に就職を希望している者に対し、施設・事業所の仕事内容等を理解するための職場体験の実施(70人参加)	
和歌山県	管内高校出身者向けDM 5,200部	
鳥取県	福祉の就職フェアを開催(年3回)	
島根県	介護の魅力発信事業(介護福祉士養成校との共催、若手介護職員による介護の魅力発信イベントの共催)	

大学生に対する理解促進・魅力発信の取組事例

都道府県	工夫している点	参考項
広島県	<ul style="list-style-type: none"> ・県内大学キャリアセンター連携・担当者会議(実績:1回目11大学, 内容:情報交換, 施設見学, 2回目8大学, 内容:施設見学, 一般大学卒新人職員による体験談等) ・県内大学理解促進就職セミナー(実績:4大学予定) ・一般大学横断型セミナー(実績:参加者9人) 	
山口県	介護の啓発のための映像制作(DVD貸出し、ネット上で動画配信等)	
徳島県	<ul style="list-style-type: none"> ●福祉就職ガイダンス及びフェアを開催し、事業所による職場説明や個別面談のほか、福祉人材センターや、ハローワークによる就業相談を実施。 ●普段は福祉に関わりのない若者をターゲットとした、福祉の魅力発信のための交流イベントを開催。 	148
香川県	介護福祉士養成校の学生と現場職員との意見交換会:4校実施、65名参加	
高知県	福祉人材センターが、大学に出向き介護の仕事を知ってもらうガイダンスを実施。	
福岡県	中学生・高校生・大学生を対象に、「介護の仕事」に対する正しい理解を促進するための就業体験を開催	
熊本県	学生と福祉施設職員等との地域座談会:10回 職場体験:254人(のべ796日)	
大分県	【福祉・介護の出前講座】 (事業内容)福祉・介護の仕事について理解してもらうとともに、新たな人材として福祉分野への参入促進を図るための出前講座を実施 (実施状況)実施予定回数 33回/うち 実施回数 21回(平成27年12月末現在)	155
宮崎県	職場見学バスツアー5名参加(専門学校生2名含む)。福祉系専修学校に「介護の心」シンポジウム参加案内	159
鹿児島県	介護ボランティア活動活性化事業(地域住民・大学生等を対象に、介護職場でのボランティア活動を通じて介護の仕事への理解を深める。)	

保護者に対する理解促進・魅力発信の取組事例

都道府県	工夫している点	参考項
青森県	一般向けに公開講座・セミナーの実施	
岩手県	出前講座:H27年度(8名、内訳:中学生保護者3名、高校生保護者5名) (県民全般に向けて) 介護の仕事の魅力を発信するテレビ番組の制作・放送	
宮城県	中学生向けパンフレットについて、親世代も対象に作成中。	
秋田県	福祉就職フェアの開催、中高生向け介護体験セミナーの開催	
福島県	近隣住民等を招いての、高齢者に優しい食事・負担のかからない介護方法等の講演や施設見学 ・地域住民を対象にした介護の仕事の体験会を実施	
茨城県	進路選択学生等支援事業(養成校が各高校を訪問し、福祉の仕事、資格の取得方法等について説明) ・福祉キャラバン隊(小学校:1校【内数】)	
千葉県	主に高校生及び保護者に対する進路相談	
東京都	福祉職場普及啓発DVD映像の配信(年度末完成予定)	117
富山県	小学校親子バス教室(2回)[再掲]	135
石川県	介護・福祉の仕事の魅力を伝える「伝道師」を委嘱し、派遣(0校)	
福井県	高校生や保護者、進路指導担当者を対象とした講演会や職場体験の実施。 (H27.12末時点実績 介護体験イベント20校84名参加・学校訪問説明4校計350名参加)	
長野県	◆訪問講座実施(4団体4講座37名受講) 保護者という括りにとらわれず、社会人という括りで幅広く 介護職についての講座を開催している。 ※上記の中には学校の先生に対しての講座も実施。	140
岐阜県	親子職場体験バスツアー(6か所、9回) 介護人材参入促進事業 ふくしのお仕事体験フェスタ 介護情報ポータルサイト	
静岡県	・夏休み小学生親子施設見学バスツアーを開催(6コース)	
京都府	高校生と保護者の施設見学会(丹後・2組)	
大阪府	小中学生を対象とした事業に記載(親子で参加する事業とするため)。	
兵庫県	広報媒体(広報記事、ソーシャルメディア等)発信による介護職員のイメージアップ DVD・パンフレット配布(小・中・高校生対象と同じ)	
和歌山県	介護の仕事についてのアンケート調査を実施	
鳥取県	・中学生とその親を対象とした介護職に対するイメージ調査を実施(約210名ずつ)	
島根県	介護の魅力発信事業(介護福祉士養成校との共催)	
広島県	・福祉施設・事業所体験型理解促進(実績:①高校生150人が地域の福祉・介護職場の職場体験実施、これに伴い、PTA会議にて、状況報告及び理解促進を図る。②親子で施設・事業所見学バスツアー開催予定)	
山口県	介護の啓発のための映像制作(DVD貸出し、ネット上で動画配信等)	

保護者に対する理解促進・魅力発信の取組事例

都道府県	工夫している点	参考項
徳島県	●福祉現場で活躍する人材を紹介する小冊子「VOICE24」を作成し、進路選択資料として活用していただくため、全小中高等学校へ配布した。	
愛媛県	事業所見学・体験バスツアーの実施(中学生・保護者・教員が対象:3回開催)	151
長崎県	福祉介護のための基礎講座(H27:21回実施) 親子(教員を含む)対象の職場体験バスツアー(H27:延べ7回実施)	
熊本県	中学生向け出前講座(保護者も対象)	153
大分県	【福祉・介護の出前講座】 (事業内容)福祉・介護の仕事について理解してもらうとともに、新たな人材として福祉分野への参入促進を図るための出前講座を実施 (実施状況)実施予定回数 33回／うち 実施回数 21回(平成27年12月末現在)	155
宮崎県	「介護のしごと」PRパンフレット作成中	
鹿児島県	介護の仕事チャレンジ事業(介護職場見学バスツアー)	163
沖縄県	289名(介護の日イベント、オープンキャンパス)	

進路指導担当者に対する理解促進・魅力発信の取組事例

都道府県	工夫している点	参考項
青森県	高等学校・福祉養成校及び福祉施設との意見交換会の開催(県内6地区で実施)	
岩手県	H27年度(盛岡市社協主催の福祉教育連絡会で市内17校の教職員に対し出前講座の実施状況説明) (県民全般に向けて) 介護の仕事の魅力を発信するテレビ番組の制作・放送	
秋田県	福祉就職フェアの開催、中高生向け介護体験セミナーの開催、介護イメージアップ小冊子配布	
山形県	介護の仕事・資格取得に関するガイドブックの作成、配付(県補助事業)	
茨城県	進路選択学生等支援事業(養成校が各高校を訪問し、福祉の仕事、資格の取得方法等について説明)	
群馬県	介護職PRパンフレットの配布に当たって、公立高校の進路指導担当者会議に出席し広報。	106
埼玉県	○事業所との意見交換会(3回、県内3か所で合計7校の担当者が参加)(平成27年12月末現在)	
東京都	①福祉職場普及啓発DVDの配布(年度末完成予定) ②進路指導担当者向けセミナー:高校の進路指導担当教員に対する普及啓発。約50校に対して実施。 ③職場体験事業及び介護職員初任者研修資格取得支援事業について、学校へ訪問し、チラシ等により周知活動を実施	117
石川県	養成校教員とともに、介護・福祉人材確保の現状や上記伝道師について説明(県内全高校)	
福井県	高校生や保護者、進路指導担当者を対象とした講演会や職場体験の実施。 (H27.12末時点実績 介護体験イベント20校84名参加・学校訪問説明4校計350名参加)	
山梨県	福祉のしごと進路指導セミナー 福祉の仕事の現状についての講演、県内福祉養成校による学校説明	137
長野県	◆1校1校学校を訪問し事業周知すると共に介護職に対するイメージについてヒアリングを実施。 ◆キャリア教育担当教諭についても県教委の協力の基、年に1度行われている県下のキャリア教育担当者が一同に集まる研修会にて事業周知を実施。	
岐阜県	修学資金貸付事業案内(150校)、家庭教育庁内連絡会議(年2回) 介護人材参入促進事業 介護情報ポータルサイト	
静岡県	・高校教員向け施設見学会を開催(1回)	
滋賀県	●施設と養成校の懇談会 : 障害者施設と介護等養成施設の進路担当者と意見交換会を開催しています。 H27実績:1回 15施設、7校参加	
京都府	高校教員進路指導セミナー(1回開催、参加:教員7名、施設職員6名)	
大阪府	府内高等学校福祉科教員との連携により、高校生の進路選択に深く関わっている教職員に対して福祉・介護の仕事の内容を正しく理解してもらえるよう高校教員向け勉強会を開催(1回)。	
兵庫県	広報媒体(広報記事、ソーシャルメディア等)発信による介護職員のイメージアップ DVD・パンフレット配布(小・中・高校生対象と同じ)	
奈良県	学校訪問による個別説明(延べ23ヶ所)、高等学校進路指導担当者の会議における広報(1回)	
和歌山県	介護の仕事についてのアンケート調査を実施、高等学校・特別支援学校・福祉系専門学校・大学(専門学校・大学は県外を含む)への学校訪問 92校	
鳥取県	・県内高等学校32校に訪問し進路指導担当者と面談 ・学校の進路担当職員向け介護の仕事説明会の実施(今後実施)	
島根県	県立高等学校学校長・事務長会議での事業紹介	

進路指導担当者に対する理解促進・魅力発信の取組事例

都道府県	工夫している点	参考項
広島県	<ul style="list-style-type: none"> ・県内大学キャリアセンター連携・担当者会議(実績:1回目11大学, 内容:情報交換, 施設見学, 2回目8大学, 内容:施設見学, 一般大学卒新人職員による体験談等) ・県内大学理解促進就職セミナー(実績:4大学予定) ・一般大学横断型セミナー(実績:参加者9人) 	
山口県	介護の啓発のための映像制作(DVD貸出し、ネット上で動画配信等)	
徳島県	●高校の進路指導担当者を訪問し進路指導の際の参考となるよう、福祉職場の魅力等を直接伝えている。	
香川県	介護の仕事の魅力を伝えるDVDを作成し、県下全中学校・高等学校に配布	
愛媛県	事業所見学・体験バスツアーの実施(中高生・保護者・教員が対象:3回開催)	151
高知県	福祉人材センターが、大学に出向き介護の仕事を知ってもらうガイダンスを実施。	
福岡県	高校の進路指導担当教師を対象に、介護の仕事を紹介する講演会を開催	
長崎県	高校進路指導教員への訪問(H27:延べ444回訪問)を実施。	
熊本県	介護の魅力PRパンフレット作成(主に中1向け)	
大分県	【福祉・介護の出前講座】 (事業内容)福祉・介護の仕事について理解してもらうとともに、新たな人材として福祉分野への参入促進を図るための出前講座を実施 (実施状況)実施予定回数 33回／うち 実施回数 21回(平成27年12月末現在)	155
宮崎県	学校訪問32校(専門学校2、中学校24、高校5、大学1)	
鹿児島県	「福祉・介護の仕事ガイドブック」の作成、配布	

ふく し み りょく

福祉の魅力

はっ けん

発見ツアー

参加費
無料



日時

県南コース

① 8/ 6 木 10:00～15:00

② 8/ 7 金 9:50～15:00

県央コース

③ 8/18 火 9:00～15:40

④ 8/19 水 9:00～15:40

対象

県内小・中学校に通学する
小学4年生から中学3年生まで
※小学生の場合は必ず保護者同伴

定員：各コース共に40名以内

申込み方法

○裏面申込書に必要事項をご記入のうえ、7月28日(火)までにFAXまたは郵送にて茨城県福祉人材センターあてにお申込みください。

申込期間 7月21日(火)から7月28日(火)(必着)
申込多数の場合は先着順とさせていただきます。

○参加決定後、申込者あて通知させていただきます。

プログラム

① 県南コース 8/6

福祉施設見学&サイバーダイнсスタジオ見学

10:00 集合【イーアスつくば】
10:30 福祉施設見学 特別養護老人ホーム新つくばホーム
12:00 昼食(各自)
13:30 サイバーダイнсスタジオ見学
【イーアスつくば】
ロボットスーツHAL®
動作原理体験 他
15:00 終了



② 県南コース 8/7

サイバーダイнсスタジオ見学&福祉施設見学

9:50 集合【イーアスつくば】
10:00 サイバーダイнсスタジオ見学【イーアスつくば】
ロボットスーツHAL® 動作原理体験 他
12:00 昼食(各自)
13:30 福祉施設見学 特別養護老人ホーム新つくばホーム
15:00 終了

③④ 県央コース 8/18 8/19

クッキング体験&福祉施設見学

9:00 集合【茨城県総合福祉会館】
9:30 クッキング体験【中川学園調理技術専門学校】
12:00 昼食
13:40 福祉施設見学
養護老人ホームナザレ園
15:40 終了





トップページ

ぐんまの魅力
観光

健康・福祉

子育て・教育
文化・スポーツ

くらし・環境

防災
消費者・食品しごと・産業
農林・土木

県政情報

[トップページ](#) > [健康・福祉](#) > [高齢者・介護](#) > [介護人材の確保・育成](#) > 小・中・高校生向けに介護職PRパンフレットを配布しています

小・中・高校生向けに介護職PRパンフレットを配布しています

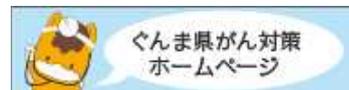
群馬県では、介護の仕事が今後の少子高齢社会を支える働きがいのある仕事であることを積極的に周知し、介護について理解を深めてもらうため、「介護職PRパンフレット」を作成・配布しています。

配布対象は県内のすべての小学校5年生、中学校1年生、高等学校1年生及び特別支援学校高等部1年生（※高校生向けのものを配布）です。



⚠ 緊急情報 →

県政キーワード

[コンベンション施設整備](#)[県総合計画「はばたけ群馬プラン」](#)[県国際戦略ポータルサイト](#)[富岡製糸場と絹産業遺産群](#)[ハッ場ダム関連情報](#)[がんばろう群馬！産業支援本部](#)[新エネルギー利用促進](#)[みんなの森をみんなで守ろう「ぐんま緑の県民税」](#)

▼ バナー広告



参考：各学校における活用例



[<バナー広告お申し込みのご案内>](#)

小学校

- 福祉施設を訪問する際の事前学習に使用した
- 朝の会や帰りの会で、読み合わせと簡単な説明を行った
- 高齢者の福祉について考える授業の補助資料として使用した

中学校

- 職場体験に向けた職業調べの学習で使用した
- 福祉の学習の補助教材として使用した
- 進路指導の一環として、介護の資格や、資格を取得できる高校を知るための資料として使用した
- 地域の社会人の体験談(介護職員)を聞く場を設定し、その際に介護の仕事の理解を深めるために活用した

高等学校

- 高齢化の現状について説明する中で使用した
- 職業適性検査や性格検査等の結果と一緒に配布した
- パンフレットの内容に沿って説明するとともに、県内の介護福祉士養成校について紹介し、進路決定に向けての参考とした
- 対象学年に配布したほか、別学年の介護職希望の学生にも配布した

※あくまで一例です。

※各学校の実情に合わせて、対象学年以外で使用したり、次年度に持ち越して使用したりすることもあります。

このページについてのお問い合わせ

健康福祉部 介護高齢課
〒371-8570 前橋市大手町1-1-1
電話 027-226-2564
FAX 027-221-8925
kaigokou@pref.gunma.lg.jp

[トップページへ](#)

[▲ ページの先頭へ](#)

[群馬県ホームページについて](#) [使いやすさへの配慮
に関するお問い合わせ](#) [サイトマップ](#) [ホームページに](#)

群馬県庁 〒371-8570 前橋市大手町1-1-1 電話番号(代表):027-223-1111 [県へのお問い
合わせ一覧](#) [県庁舎のご案内](#)

All Rights Reserved. Copyright © Gunma prefecture.
各ページに掲載の写真・音声・CG及び記事の無断転載を禁じます。

平成27年9月3日
福祉保健局

～学んで、感じて、好きになる!～

「フクシの魅力☆発見セミナー」の開催

東京都は、今年度から都内の介護福祉士等養成施設で「フクシの魅力☆発見セミナー」を開催します。このセミナーでは、福祉に関する講演会や福祉・介護体験等をとおして、福祉の仕事の魅力等を伝えます。福祉の仕事や福祉活動に幅広く興味・関心のある方は是非お越しください。

中学生・高校生の方

福祉の仕事を目指している中学生・高校生、福祉ボランティア等の福祉活動に興味・関心のある中学生・高校生を対象としたセミナー

(1) 講演会または映画上映

○講演会 「そもそも福祉ってなんだろう?」、「福祉の仕事って何があるの?」。そのような疑問に講師が応えます!
身近な福祉や、福祉の仕事のやりがい、魅力、面白さを伝える講演会

【講師】・NPO法人 Ubdobe 代表理事 岡 勇樹 氏

- ・株式会社リクルートキャリア HELP MANI.JAPAN 事業推進ユニット長 坂田 祐一氏 ほか
- ・一般社団法人 FACE to FUKUSHI 共同代表 河内 崇典 氏 のうちいずれか1名

○映画上映 介護福祉士を目指す専門学生が主人公の青春ムービー「空と海のあいだ」の上映

(2) 福祉・介護体験 車椅子体験やベッド移乗、福祉体験等を行います。

(3) 説明会 福祉の仕事に携わるための資格の取得方法や、福祉ボランティア等の今からできること等を、養成施設の教員が紹介します。

(4) 相談会 養成施設の教員や東京都福祉人材センター職員による相談会

福祉の仕事等に興味・関心のある方

子育てや仕事が一息ついた方で福祉の仕事を始めたい方、社会・地域貢献活動や福祉ボランティア等に興味・関心のある方等を対象としたセミナー

(1) 講演会 社会・地域貢献活動という視点を交えながら、身近な福祉や福祉の仕事のやりがい、魅力を伝える講演会
【講師】 特別養護老人ホーム等の施設長

(2) 福祉・介護体験 車椅子体験やベッド移乗、福祉体験等を行います。

(3) 説明会 福祉の仕事に携わるための資格の取得方法や、仕事と家庭を両立した働き方、福祉ボランティア等の今からできること等を、養成施設の教員が紹介します。

(4) 相談会 養成施設の教員や東京都福祉人材センター職員による相談会

備考

- ・事前申込不要（当日先着順）。参加費無料
- ・開催日及び会場等は裏面のとおり
- ・詳細は東京都福祉人材センターホームページをご覧ください。

<http://www.tcsww.tvac.or.jp/jinzai/index.html>

※本事業は東京都が社会福祉法人東京都社会福祉協議会（東京都福祉人材センター）に委託して実施します。



東京都福祉人材センター
キャラクター「フクシロウ」

問合せ先 福祉保健局生活福祉部地域福祉推進課 もりた こうる 森田、小鶴

電話 03-5320-4048(直通) 内線 32-540、32-541

東京都福祉人材センター ひらが 平賀 電話 03-5211-7923

教職員の皆さまへ

中高生に
福祉の心を
伝えます！



フクシを知ろう！ なんでもセミナー

ご案内

中高生のみなさんに、福祉やその仕事のイロハ、魅力をお伝えすることで、仕事への理解を深め、また、福祉の仕事を目撃していただくためのセミナーとなります。さまざまな用途でご活用ください。

プログラム 内容

1 開催時間

基本は1コマ（50分）としますが、各校のご要望により、調整します。

2 セミナーの内容

- ① 福祉の概要説明、福祉の職場・職種・資格や最近の動向のご紹介
- ② 福祉の仕事の実際、仕事をする意義や経験談など

※下記のプログラムは1例です。各校のご要望にお応えし、調整します。

A 「フクシってなんだろう？ フクシのシゴトって？」 20分（講師：東京都福祉人材センター職員）

福祉とは何なのか？ 自分たちの生活にどのように関わっているのかといった身近なお話を交えながら福祉とその仕事の概要をご説明します。

B 「フクシのシゴト 喜怒哀楽」 30分（講師：福祉現場の職員）

福祉の仕事は実際にどのような仕事なのか？どのようなドラマがあって、どのようなことを感じて日々、仕事をしているのか？ 福祉現場のプロの職員が、自身の経験談を交えながらお話をします。

C 「フクシの資格あれこれ、今のフクシ、これからのフクシ」 20分（講師：東京都福祉人材センター職員）

多岐にわたる福祉の資格についてのご説明と、福祉の仕事の現状、将来的な見通しについてご説明します。

D 「フクシのシゴト ホントのところ」 30分（講師：福祉現場の職員）

なぜ福祉の仕事についたのか？ 生活ぶりはどうなのか？ 福祉の仕事の魅力とは何なのか？ 様々な疑問にプロの職員がお答えします。

3 講師

介護や福祉現場（高齢・障害・児童の各分野）の職員。東京都福祉人材センターの職員。他にご希望があれば、専門学校や大学の先生へもお声かけします。

活用方法

奉仕の授業やキャリア教育の一環、選択授業等や就職セミナーの一環として、あるいは部活動単位での実施や希望者を集めてなど、様々な用途でご活用いただけます。

申込方法

裏面の申込書に必要事項をご記入の上、FAXまたは郵送にてお申し込みください。
※講師との日程等の調整がございますので、開催希望日の1か月前までにお申し込みください。

費用

無料。ただし、開催する会場（教室等）の確保は各校にてお願いいたします。

お問合せ先

社会福祉法人 東京都社会福祉協議会 東京都福祉人材センター
〒102-0072 東京都千代田区飯田橋3-10-3 東京しごとセンター7F
TEL：03-5211-2860 FAX：03-5211-1494



フクシを知ろう！
介護等体験ツアー
も開催！

夏休みや冬休み、休日等に、福祉・介護施設や福祉系大学等を見学し、介護などを実際に体験するツアーを開催します。対象者は、都内の中高生、保護者、教職員などになります。
※詳細は決まり次第、東京都福祉人材センターのホームページに掲載します。

送付先FAX番号：03-5211-1494 東京都福祉人材センター行き

「フクシのシゴト なんでもセミナー」申込書



学校名		
担当者氏名・所属	(氏名)	(所属・職名)
連絡先	(TEL)	(FAX)
	(E-mail)	

1 ご希望の日時 (必要事項をご記入ください)

	日 程	時 間
第一希望	月 日 ()	: ~ :
第二希望	月 日 ()	: ~ :

2 対象者 (必要事項をご記入ください)

学科・コース・クラブ名等	学 年	人 数

3 ご希望のセミナー内容 (各項目に○をつけ、必要事項をご記入ください)

ご希望のプログラム (チラシ表面のA~Dよりご希望のプログラムを選択してください)	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">東京都：参考資料2</div> A ・ B ・ C ・ D その他 ()
ご希望の分野 (福祉現場の職員のご希望分野を選択してください)	高齢 ・ 障害 ・ 児童 その他 ()
その他ご希望 (セミナー内容に関するご希望がありましたらご記入ください)	

4 その他 (各項目に○をつけ、必要事項をご記入ください)

申 込 理 由	奉仕の授業の一環 ・ キャリア教育の一環 ・ 選択授業 その他 ()
参加生徒の福祉への取組状況 (ボランティア参加や体験授業等) をご記入ください。 セミナー内容の参考といたしますので、可能な限り具体的にいただければ幸いです。	
その他、ご要望・ご質問等がございましたら、こちらにご記入ください。	

介護のコト 体験フェア

2015 11/22 日
11:00-16:30

会場：東京国際フォーラム
(展示ホール2)

介護するみんなに負担がかかっては、
本当の介護とは言えないもんね。

プロがいろいろなコツを
教えます！

いろんな角度から
介護を知ってみよう。

ずっと使える
「介護のなるほど」が満載！

あなたにピッタリの仕事が、
きっと見つかるわよ。

介護の相談や、福祉業界への就職、
転職の相談も、会場でするよ。

介護ロボットを
体験できるらしいよ。

プロのワザを体験できる

現場の
プロが
伝えます！

- 介護者にも優しい介護のコツ
- オムツの上手な使い方
- 口腔ケアの意義・ポイント
- マヒのある方の着替えと入浴
- リフレッシュできる足浴のポイントなど

介護、福祉のコトを聞ける・見られる・体験できる

- 介護ロボット体験コーナー
- ブラインドサッカー体験コーナー
- 認知症に関する映画上映
- トークセッション

キャンペーンサイトを
検索！

入場無料！ 事前申込み
不要！

対象

- 介護・福祉の仕事に興味がある方(中高生など)
- 介護問題に関心がある方、在宅で介護をしている方

興味がある方なら
どなたでも
お越しください。

お問
い合
わせ

社会福祉法人 東京都社会福祉協議会
東京都福祉人材センター

TEL:

03-5211-2860

詳しくは、東京都社会福祉協議会のHPをご覧ください。

<http://www.tcsw.tvac.or.jp/jinzai>

【主催】「福祉の仕事 イメージアップキャンペーン事業」実行委員会（予定）公益社団法人東京都介護福祉士会、公益社団法人東京社会福祉士会、特定非営利活動法人東京都介護支援専門員研究協議会、公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会関東信越ブロック協議会東京部会、一般社団法人日本社会福祉士養成校協会、東京都社会福祉協議会、東京都高齢者福祉施設協議会、センター分科会、東京都社会福祉協議会、東京都高齢者福祉施設協議会、高齢者施設福祉分科会、東京都社会福祉協議会東京都介護保険居宅事業者連絡会、東京都社会福祉協議会事務局、東京都福祉人材センター、【協賛（予定）】公益社団法人東京都医師会、公益社団法人東京都歯科医師会、公益社団法人東京都薬剤師会、公益社団法人東京都看護協会、公益社団法人東京都理学療法士協会、一般社団法人東京都作業療法士会、公益社団法人東京都栄養士会、一般財団法人東京都弘済会、東京都民生児童委員連合会、公益財団法人東京都福祉保健財団、公益財団法人介護労働安定センター東京支部



フクシロウ

福祉キャリアナビ 検索

介護職員 初任者研修資格

資格取得支援

受講者
募集中!

本センターの「職場体験」を行った方に、
介護職員 初任者研修を開講します。受講料は無料です。

介護の基本の資格が、
無料で取得できるチャンス!

休みに受講できるって
嬉しいよね。

資格があると、
就職にも有利よね。

「夏・冬休み集中コース」
「土・日コース」など、
自分に合った講座が
選べます。

キャンペーンサイトを検索!

対象

- 都内在住または在学の学生 (大学生・短大生・高校生)
- 都内在住の主婦の方、就業中の方・離職中の方
上記のいずれかに該当し、職場体験を受講前にしている方が対象となります。

受講料

無料



フクシロウ

介護の基本の資格が、無料で取得できるチャンス!

介護職員
初任者研修資格

資格取得支援

受講者
募集中!

介護職員初任者研修は、
介護職として働くための基本の資格です。
介護職員に必要な不可欠な介護に関する
知識や技術を、短期間(130時間)で学べます。
修了後は、福祉施設や介護事業所などでの
活躍が期待されています。



対象者

人材センターが実施する「職場体験事業」を利用した、都内在住または
在学の学生(大学生・短大生・高校生)、都内在住の主婦、就業者及び離職者
※職場体験を受講前に行っていただくため、介護勤務未経験の方が対象となります。
※対象外の方 ●介護福祉士または介護職員初任者研修等の資格を取得している方 ●就職内定している方

実施期間

平成27年5月26日～平成28年2月29日まで ただし、各研修の開講期間は2～3ヶ月程度

会場

都内各地 ※詳細は人材センターホームページをご覧ください。

- 1 まずは、職場体験を行って体験先から体験修了証を受け取る
- 2 介護職員初任者研修の申し込み 学校推薦(学生の場合)・課題作文の提出
- 3 受講決定 ※人材センターから決定通知が届きます。その後、研修事業者からも受講案内が届きます。
- 4 研修受講 講義と演習で130時間 通信制は講義の一部を通信で行います。
- 5 資格取得(筆記試験に合格)
- 6 人材センターで修了証交付
- 7 就労相談・就職活動 ※人材センターで介護の仕事を紹介します。



介護業界へ就職!

体験▶資格取得▶就職へ一直線!

人材センターが就職に向けて応援します!



これから確実に伸びる、福祉業界の現場を見てみよう！

介護職場体験

参加者
受付中!

この職場体験に参加すると、
「介護職員初任者研修」を
無料で受講できます！*

まずは気軽に体験してみよう！

介護の仕事を
たくさんの人に
知ってほしいわね。

みんな未経験者！
参加費も無料で嬉しいね。

キャンペーンサイトを検索!

対象

介護業務への就労を希望する

- 都内在住または在学の学生(大学生・短大生・高校生)
- 都内在住の主婦の方、就業中の方・離職中の方

※ただし、介護業務未経験の方が対象となります。

参加料

無料

*「介護職員初任者研修、資格取得支援」については、下記のHPをご覧ください。

詳しくは、東京都社会福祉協議会のHPをご覧ください。

お問い合わせ 社会福祉法人 東京都社会福祉協議会 TEL: 115
東京都福祉人材センター 03-5211-2860 <http://www.tcsw.tvac.or.jp/jinzai>



フクシロウ

福祉の就活2015

検索

新しいあなたと出会える、大きなチャンス!

介護職場体験

参加者
受付中!

職場体験の流れ

- 1 まず、ホームページに掲載している「職場体験受け入れ施設・事業所一覧」から、体験先を選びます。
- 2 人材センターに体験の申し込みをします。
※人材センターが体験先と調整し、体験実施を決定します。
- 3 体験希望者より、5日前までに事業所へ連絡日時・体験内容・持ち物等について確認します。
※事前連絡を行わない場合は、体験受入を中止します。
- 4 さあ、体験の開始です!
- 5 最後に、体験先に体験報告を提出し、**体験修了証**を受けとってください。
※人材センターが実施する無料の介護職員初任者研修の受講には、体験修了証が必要です。

対象者

介護業務への就労を希望する、都内在住または在学の学生(大学生・短大生・高校生)、都内在住の主婦、就業者及び離職者

※対象外の方 ●介護業務の経験のある方 ●中学生以下・専門学生の方
●受入施設・事業所に内定している方 ●学校教育の一環(実習・課外活動等)で参加する方

体験先

●特別養護老人ホーム ●老人保健施設 ●グループホーム ●デイサービス
●訪問介護 他(複数の施設・事業所での体験可)

詳細はホームページをご覧ください。

体験実施期間

平成27年5月19日から平成28年2月29日まで
体験日数は最大3日まで(日勤時間帯で1日当たり5～8時間まで)

体験内容

- 利用者との交流(話し相手、レクリエーションなど)
- 利用者の介護・介助(車いす介助、食事介助、入浴介助など)
- 作業補助(配膳・下膳、洗濯物の整理、清掃など)



体験にあたってのご注意

- 参加費は無料ですが、交通費・昼食代などは自己負担となります。
- 体験中の事故に備え、人材センターで保険に加入します。(保険料の負担はありません)



体験者は介護職員初任者研修資格を無料で受講できます。

人材センターが介護の仕事を紹介し、就職に向けて支援します。



現状と課題

福祉の仕事のやりがいや魅力を伝えることを目的に、イメージアップイベントや学校訪問セミナー、職場体験ツアー等の普及啓発事業を実施
福祉業界のマイナスイメージについては未だ根強く残っている。
特に中高生の進路選択のキーパーソンである教職員・保護者については、福祉業界を希望する中高生の壁となっている。

働きやすい職場環境の整った施設の紹介等を通して、福祉業界の魅力を伝えるDVDを作成

DVDの概要

目的 中高生や教職員等の福祉業界のマイナスイメージを払しょくすることで、次世代の人材確保を目指す。

時間 40分

構成

(1) 福祉業界を取り巻く今・未来
現状と2025年問題等の未来や、世間のイメージと実態を説明（出演：上智大学 藤井准教授）

(2) 働きやすい職場環境の整った施設の紹介
高齢・保育・障害施設の取組を紹介

【高齢】(社福)合学苑 特別養護老人ホーム桂寮 - IT機器の活用による業務の効率化、不規則勤務の解消

【保育】(社福)聖愛会 はぁもに保育園・充実した研修・育成システム、メンタルサポート

【障害】(社福)正夢の会コラボいなぎ・出産後・育児中も安心して働ける体制づくり、連続休暇制度

(3) 職員・利用者インタビュー

福祉職場で働くことを具体的にイメージできるようなインタビューを実施

やりがいがあり未来に希望を持てる職場であること

就職から管理職等までの具体的なキャリアアップストーリー 仕事と家庭の両立方法 等

(4) 給与モデル調査結果の紹介

特別養護老人ホームで正規職員として働いた場合の給与モデルを調査し、その結果等を示すことで、他業界と同様に長く働き続けられればキャリアアップしていくことを伝える。（出演：上智大学 藤井准教授）

(5) 都 代表者等からのメッセージ

福祉人材確保における都の取組や今後の施策の方向性を伝える。

DVDの活用方法・周知方法

DVDの内容を細かくチャプター分けし、様々な用途に合わせて活用

中学・高校の授業での活用

家庭科(福祉)や総合的な学習、奉仕の時間等の授業で活用

イベントでの上映等

・介護のコト体験フェア等、都福祉人材確保イベントで上映
・教職員が集まる会議や、保護者も参加する養成施設のオープンキャンパス等で上映

動画配信

・内容を数分ごとに分割し、中高生がよく閲覧するYoutube等で配信
・自宅でも気軽に閲覧できるので、福祉の仕事に就きたい中高生による保護者等への説得材料として活用

周知方法

都内全ての中学・高校、区市町村、区市社協、ボランティアセンター等に
DVDを配布

関連事業のチラシに動画QRコード等を記載

関連事業参加者、関係機関への周知 等

スケジュール等

平成27年10月	11月	12月	1月	平成28年2月
◆施設への視察	◆取材施設決定			
◆DVD作成業者決定	◆撮影・編集			
◆給与調査→調査結果集計	◆次世代WG			
	◆次世代WG			
				◆完成→配布

< DVDの作成 >

委託先：東京都社会福祉協議会。なお、撮影や編集等については業者に再委託
進行管理：教職員等の関係者が参加する次世代WGで内容を調整

< 給与モデル調査の実施 >

藤井准教授の監督のもと、都内の特別養護老人ホームに対して調査を実施

調査施設：都内の全特別養護老人ホーム462施設

調査対象：介護職員として新規学卒採用後に1年間以上従事し、現在正規職員の者

Invitation for You

ようこそ あなたを輝かせる 福祉・介護のしごとへ



もくじ

現場職員からのメッセージ(1) .. P1~2
福祉・介護の仕事
—主な資格・職種と施設・サービス種別 .. P3
福祉・介護の仕事に就くには .. P4
福祉・介護の仕事 Q & A Part1 .. P5
職員の一日の仕事の流れ .. P6
福祉・介護の仕事 Q & A Part2 .. P7
福祉・介護の仕事 Q & A Part3 .. P8
福祉人材センターについて .. P9
現場職員からのメッセージ(2)



ようこそ！ 福祉・介護の仕事の世界へ

私たちは、だれもがこの世に生まれてから、うれしいことや悲しいこと、さまざまなできごとに出会って人生を重ねていきます。

その間、大きな困難に遭遇することもあります。支えてくれるだれかがいることで、乗り越えられるという経験もしていきます。

そうやって私たちは、生きる力をだれかに与えられたり、逆に与える立場にもなりながら、互いに支えあって生きています。

福祉・介護の仕事は、一人ひとりがかけがえのない^{いのち}生命をもって生きていることに毎日ふれながら、その暮らしを見守り、支える仕事です。

また、どんな状況におかれている人でも、自分らしくいられる状態、「生きていてよかった」と思える瞬間をつくり出していく仕事です。

一見、それは一方的に支えているように見えますが、今を懸命に生きている人、また、さまざまな経験を積んできた人生の先達とかかわる中で、私たちは、あらためて、人はだれもがだれかを幸せにする力をもっていることに気づかれます。

人が一つの^{いのち}生命をまっとうしていくときの崇高さにもふれます。

福祉・介護の仕事は、“人が生きていく”ということ、そのものにかかわりながら、「ありがとう」という言葉をお互いにかわしあえる仕事です。

あなたも、この仕事の魅力にふれて、わたしたちと一緒に福祉・介護の職場で働いてみませんか？

福祉人材センターでは、さまざまな事業を通じて、福祉・介護の職場で活躍する職員からのメッセージを届けてきました。

この冊子にメッセージを寄せてくださっているのは、当センターが実施している「福祉の仕事を知る懇談会」などにゲストスピーカーとしてご協力いただいた方々です。

どの方もいろいろな経験を経て福祉・介護の仕事に出会い、その魅力ややりがいに惹かれて、それぞれの職場でいきいきと活躍されています。

こうした方々のメッセージを通じて、福祉・介護の仕事の魅力ややりがいを伝えること、あるいはよくある疑問等におこたえする内容としていくことを目的に、この冊子を作成しました。

手にとっていただき、ひとりでも多くの方がこの仕事に関心を持ち、今働いている方たちの仲間となっていていただくことにつながれば幸いです。

平成27年3月

社会福祉法人 神奈川県社会福祉協議会

かながわ福祉人材研修センター・福祉人材センター

ここにあるのは、ささやかな喜び、 人としての成長、人生の重さと価値

「支えること」が仕事の自分たちが、いつの間にか 支えられている ……介護って不思議な仕事

正直なところ、はじめから福祉に関心があったわけではありません。前の仕事をやめ、再び仕事をしようと思ったときに、特に資格もなかったので、何か資格をとって長く働ける仕事を、と探していたところ、ヘルパー講習の募集を見つけました。

「これなら私にもできるかな？」と思い、受講したのがきっかけです。

介護とは、それを必要としている人の生活がより良いものになるようお手伝いをすることです。そして、介護はご利用者のかかわりの中でたくさんのことを学び、成長することができる仕事であると実感しています。一方で、介護は看護をはじめ他職種との協力により、はじめて一人のご利用者を支えることができます。それぞれに必要なことを学びあい、一つの目的に向かってチームで仕事をしていく。それがこの仕事の面白さ、醍醐味です。

きっかけはどんなことでもいいと思います。福祉は「大変」「報酬が見合わない」などと言われます。でも、どんな仕事でも「大変さ」はあるのではないのでしょうか。介護の入口はやさしく誰でも始められますが、きちんとした知識も技術も必要な「専門職」です。また、我が国が、歳をとっても誰もが安心して暮らせる国であるために必要な、社会的責任のある仕事です。何より楽しく、いろいろな人との出会いは心を豊かにしてくれます。私自身、ご利用者に支えられた体験をいくつもしてきています。「支える」ことが仕事のこちら側が、いつの間にか精神的に「支えられて」いる。介護って不思議だなと思います。少しでも興味を持った方は、ぜひ福祉と介護の仕事をのぞいてみてください。



(福) くすのき
特別養護老人ホーム
メイサムホール(高齢分野)

井戸川 康子さん

利益重視、効率重視の企業社会では得られなかった喜びに出会えた



(福) 一廣会
特別養護老人ホーム
金井原苑(高齢分野)

鈴木 知徳さん

前職は接客業。テレビゲーム専門店の店長で3年間経験を積んだ後、一部上場企業へ転職しました。しかし、転職先の環境になじめず、3ヶ月で退職。無職のまま30歳を迎えようとしているとき、テレビで『中年男性が介護で再出発』という番組を見て、介護の仕事に興味を持ち始めました。

心配性な私は専門学校で学んでからと考え、介護福祉士の資格を取得し、介護が自分に合っているのか、やはり心配だったので、施設でボランティアとして介護体験をしました。体験してみると、とてもやりがいや、心が癒されていくのを感じ、「この仕事で行こう!!」と思うことができました。

私は昔からあまり競争心がなく、出世欲もありません。そのせいもあって、前の職場がなじめなかったのかな、とも思います。介護の仕事は、利益重視、効率重視の世の中で、「何か違う」と悩んできた私のような人向きの仕事だと思います。

利用者さんから「ありがとう」と心から言ってもらえた時、「ああ、ここにいていいんだ」と思えました。これが今の私の原点です。今年からチーフに昇格したことで、その他の業務が増えて大変ですが、これからも現場で介護の仕事をしていきたいと考えています。

ともに生きる幸せが実感できる仕事



(福) 心泉学園
児童養護施設
心泉学園 (児童分野)

赤尾 さゆりさん

児童養護施設の職員として働いて7年。結婚、退職して、児童館にパートに行ったのがきっかけです。子どもが好きという理由で始めたのですが、困難の中でもいきいきと生きている姿を見て、子ども達と共に生きることの楽しさを感じ、この仕事に関心を持ちました。

この仕事のやりがいと言えば、なによりも、“子どもたちの成長”です。このあいだまで膝の上で甘えていた子が、人生についてなど話し始めた時に、成長を感じます。人と人との関わりの中で、お互いが成長していくところがこの仕事の魅力です。自分の専門知識を向上していくことで、人の役に立つことにつながる経験ができることも、やりがいとなっています。

福祉の仕事は人のお世話をして喜んでもらうという、ささやかな喜びにあふれた仕事です。人の人生にかかわるといことは辛いこともあるけれど、共に大変なことを乗り越えて、また喜びへとつなげていくことができます。共に生きるという幸せが実感できる仕事だと思います。

つらいことも忘れてしまう感動、達成感

そして、チームで喜びを共感できる仕事

高校卒業後、大学へ進学するも特に夢や目標もなく、大学卒業後もアルバイト生活を送っていました。ある日足を骨折し、1か月半入院。そのときの高齢患者さん等とのかかわりから、福祉の仕事に携わってみたい…と思うようになりました。退院後、求人情報をたよりに面接に行ったのが現在の職場との出会いです。法人の理念や支援のスタンスも共感でき、人間関係を含め職場環境としても恵まれ、幸運であったと振り返っています。

私たちの仕事は、地域で暮らす障害のある方の支援全般です。障害と言っても身体障害、知的障害、精神障害、重複障害などさまざまで、それぞれ悩みや不安、暮らしにくさも違いますが、私の勤務する職場は、パンの製造販売など、色々な活動を通じて自己実現しようとする障害がある方のサポートをしています。現在はサービス管理責任者とセクション統括という立場のため、直接的なサポートは少なくなりましたが、この仕事の原点は、現場での向き合いにあると感じています。

また、この仕事の良さはチームプレーというところにもあります。利用者からキャッチしたニーズを共有し、利用者の変化を共感しあい、チームで支援を考え、アプローチしていく中で、その成果が実感できた時の喜びは大変大きなものです。

縁あってこの仕事とめぐりあいました。きっかけは偶然でしたが、今はこの仕事の魅力にとりつかれ、のめりこんでいる自分がいます。確かに楽な仕事ではなく、肉体的にも精神的にも大変な部分もあります。「キツイ」「給料が安い」などと世間で言われており、確かにそういう面もあるかもしれませんが、そんなことを忘れてしまうような素敵な出会いや感動する場面、味わったことのないような達成感を感じる瞬間もたくさんあり、やりがいを感じています。

就職先を検討するにあたっては事業所の理念や実践を知り、ご自分の目指す方向性や考え方にマッチしているか、自分自身が支援者として、人間として成長していける環境であるかなどを検討していかれるとよいと思います。



(福) 訪問の家 (障害分野)

小坂 知彦さん

福祉・介護の仕事—主な資格・職種と施設・サービス種別

◆福祉・介護の職種や施設・サービス等は大きく入所型、通所型、訪問型に分けられ、対象によっても次のような種類（例）があります。

	主な施設・事業所・サービス		
	高齢者	障害者・児	児童
入所系 施設 事業所	特別養護老人ホーム (介護老人福祉施設) 介護老人保健施設 介護療養型医療施設 特定施設入居者生活介護 認知症対応型共同生活介護 (グループホーム)…等	障害者支援施設 共同生活援助…等 (グループホーム)	児童養護施設 乳児院 母子生活支援施設…等
通所系 及び 訪問系 サービス	訪問介護(ホームヘルプ) 訪問入浴介護 通所介護(デイサービス) 通所入所生活介護 (ショートステイ) 小規模多機能型居宅介護 居宅介護支援事業…等	居宅介護(ホームヘルプ) 重度訪問介護 同行援護 行動援護 放課後等デイサービス 短期入所 重度障害者等包括支援 自立訓練 就労移行支援 就労継続支援…等	保育所 認定こども園 学童保育 児童館 児童発達支援…等

◆上記の職場の中で、次のような業務と資格（例）があります（一部には資格を必要としない職種もあります）。

業務内容	対象・分野		
	□内は主な資格		
	高齢者	障害者・児	児童
直接支援系の仕事 ・高齢者、障害者（児） に対する介護業務、 生活支援業務等 ・児童に対する保育、 生活指導業務等	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">介護職員初任者研修修了（旧ヘルパー 2 級）</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">実務者研修修了（旧ヘルパー 1 級）</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">介護福祉士</div>		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">保育士</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">児童指導員任用資格</div>
相談・援助・調整系 ・高齢、障害、児童な どの分野での相談調 整業務等 ・介護保険サービスの ケアプラン作成等	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">社会福祉士・精神保健福祉士</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">社会福祉主事任用資格</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">介護支援専門員 (ケアマネジャー)</div>		

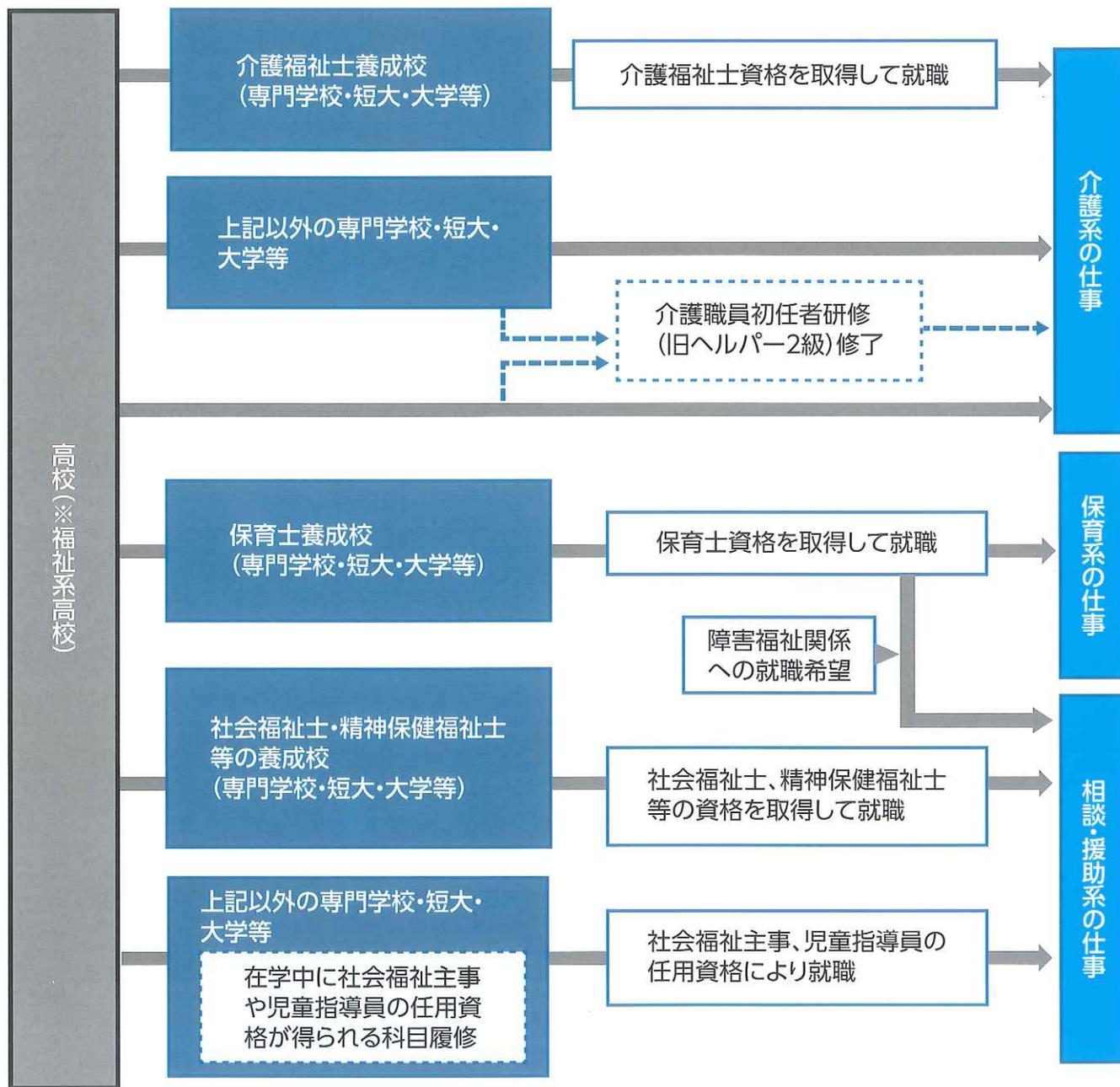
この他に福祉・介護の職場には、「看護・リハビリテーション関係の業務」（看護師、理学療法士、作業療法士等）「栄養管理の業務」（管理栄養士等）「運営管理関係の業務」（事務職、管理職）の業務などがあります。

福祉・介護の仕事に就くには？

- ◆福祉・介護の仕事は、就職するにあたって特定の資格取得が必須となる職種と、就職して、実務経験を積んでから資格取得できる職種等もあります。
- めざす仕事、職種によって、進路もそれぞれです。
- 自分のやりたい仕事は何かを考え、進学先を決めていきましょう。

高校卒業から福祉・介護の仕事に就職するまでのおもな進学ルート

※平成27年3月現在



- 福祉関係以外の進路に進んだ後、上記の進学先等であらためて学んでから就職する人も多くいます。
- 図中の「※福祉系高校」の場合、卒業のみで初任者研修修了、介護福祉士（国家試験）受験資格が得られる場合があります。
- 各資格の取得方法（制度）については、今後変わっていく可能性があります。厚生労働省等のHPで調べたり、福祉人材センター等で確認してください。

◆福祉・介護の職場に就職したきっかけや、ルート(進路)についてこたえてもらいました。

高校を卒業し、 特別養護老人ホームの職員に

中学のときボランティアでデイサービス(高齢)に行ったのがきっかけ。その後、祖母の介護の手伝いも経験し、高校の進路担当の先生に勧められて特養老人ホームに入職。

高校卒業してすぐ入職したので不安でいっぱいでしたが、先輩職員や利用者様と過ごしているうちに不安はなくなっていました。

【特別養護老人ホーム 介護職員(女性)】
(高齢者分野)

専門学校に進学、介護福祉士資格をとって 特別養護老人ホームの職員に

認知症で入浴することが理解できずに泣き出しそうになっている祖母が、スタッフの一声で表情を和らげた。中学生のときにすごいなあ、と感じた経験が、高校卒業後の進路選択につながりました。

【特別養護老人ホーム 介護職員(女性)】
(高齢者分野)

専門学校在学中の実習、ボランティア経験から 児童養護施設の職員に

いところにダウン症の子がいたのが福祉系専門学校への入学の一つのきっかけ。福祉の仕事については、肢体不自由の方、老人、知的障害の方のケアと漠然と考えていました。専門学校1年生の時、夏の実習でお世話になったのが今の施設。丸2年ボランティアさせてもらったことも就職につながった大きな要因です。

職員の仕事は子育て。お世話をする人ではありません。食事作りも学習指導もスポーツ指導もあります。何事にも“苦手だけどやってみよう”という気持ちが必要で。

【児童養護施設 生活指導員(男性)】
(児童分野)

保育科専門学校での実習の体験が きっかけになり障害者支援施設に

保育士を目指し、専門学校に進学。実習先で障害者支援施設に行ったことがきっかけになり、障害者支援施設に入職。

最初に実習に行ったときは、出会ったことのない人たちを前に抵抗感がありました。レクリエーションを通じて、少しずつ“知る”ことと“理解”することから“共感”につながりこの世界へ。笑顔があまり見られないご利用者が少しでも笑った時は、大きな喜びを感じます。

【障害者支援施設 生活支援員(女性)】
(障害者分野)

大学で社会福祉を専攻し、 障害者支援施設の職員に

特に福祉の仕事へのこだわりはなかったが、施設でボランティアをしていた知人からスタッフを募集していることを聞き、その流れで職員として入職。

就職については漠然としか考えていませんでしたが、縁あってやりがいのある仕事に就くことができ、つくづくラッキーだったと思います。

【障害者地域活動ホーム 生活支援員(男性)】
(障害者分野)

一般大学から縁あって 障害者支援施設の職員に

「就職氷河期」と言われた学生時代。内定がなかなかもらえずにいたところ、ふと目に留まった求人に応募し、入職。

関心がなかった福祉業界に応募したのは、『働くことへの支援』を明確に打ち出している点が、自分の『福祉』のイメージをくつがえすものだったから。

福祉の中でも、障害という分野は、足を踏み入れにくいと感じている方は少なくないと思います。でも“人が好き”という思いを持っているれば、敷居は決して高くないと思います。

【障害福祉サービス事業所 生活支援員(女性)】
(障害者分野)

職員の一日の仕事の流れ

◆福祉の仕事は、高齢、障害、児童の各分野によって、また、各施設・事業所の種別によって様々です。ここでは各分野から代表的な施設種別を例にとって、職員の一日の仕事の流れを紹介します。(ここに示したものはあくまでも一つの例であり、実際の仕事の流れはそれぞれの職場により異なります。)

【高齢者】特別養護老人ホームの職員（介護職）の一日（例）

①日勤

時間	8:15	9:00	10:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:15
日勤	出勤 記録確認 申し送り	口腔ケア 排泄介助	朝の会 体操 司会	食事・ 服薬介助 (休憩時間あり)	昼食片づけ 口腔ケア 排泄介助	レクリエーション	おやつ介助	申し送り カンファレンス等	記録終了後 退勤

②夜勤

時間	16:00	18:00	19:00	20:00	21:00	～4:00	6:00	8:00	9:00
日勤	出勤 記録確認・ 申し送り	食事介助 服薬介助	口腔ケア 排泄介助	居室誘導 着脱介助 就寝介助	全体の 状況の把握 記録	巡回 排泄介助 (休憩時間 あり)	起床介助 着脱介助 排泄介助	食事介助 服薬介助	申し送り 記録終了後 退勤

【障害者】障害者支援施設の職員（生活支援員）の一日（例）

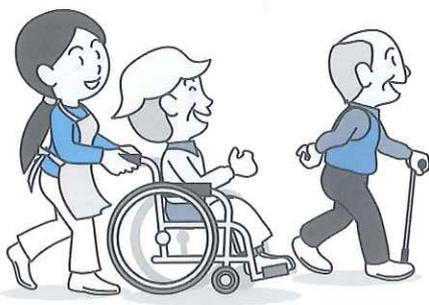
通所施設（日勤）

時間	8:15	8:30	9:30	12:00	13:15	13:30	16:00	17:00	17:15
日勤	出勤 ミーティング	送迎（車）	朝礼後 午前中の 活動支援	休憩	レクリエーション	午後の 活動支援	送迎（車）	記録作成	ミーティング 退勤

【児童】児童養護施設の職員（生活指導員）の一日（例）

児童養護施設

時間	6:30	7:00	8:00	9:00	10:00	15:00	16:00	18:00	21:30
日勤	起床 朝食準備	朝食 登校支援 家事・雑務	児童出発 打ち合わせ 外部連絡	家事 雑務	休憩 ※勤務では なくなります。	児童帰園 宿題・ 学習支援	入浴 家事・雑務	夕食 学習支援	就寝 退勤



現場職員に聞きました！ 福祉・介護の仕事 Q & A

Part. 2

◆高齢、障害、児童のそれぞれの分野の職員に、福祉人材センターでも特に多く寄せられる質問についてこたえてもらいました。



高齢分野の仕事 Q & A

Q 夜勤の仕事が不安です。
どのようなバックアップがありますか？

A 夜勤までのステップは各施設で異なりますが、OJT等で十分に研修を積み、スキルアップしてから配置されるようになります。

緊急時は看護師の指示を受けられるようになっていきますし、どこに連絡するかという手順のマニュアル化や、救急救命講習は自分の勤務する施設では全職員が受講することとなっています。

Q 排泄介助等に対して抵抗感があるのですが…。

A 排泄は健康の大事なバロメーターです。また、介護の仕事の一部として、その方の「心地よい」を大切にお世話をしているうちに、感じ方も変わってきます。

感染予防の観点から介助にあたっては専用の用具等があり、快適な生活空間のために、におい対策等も十分な配慮がされています。

障害分野の仕事 Q & A

Q 体力が必要な仕事ですか？

A 体力の面からいうと、職場には例えば小柄な女性も仕事をしています。60代の方も職場にはいるので、特別な体力が必要な仕事というわけではないと思います。

体を痛めない介護技術について研修もありますし、チームワークで関わります。一人で全部やらなければいけないわけではありません。

Q 障害のある方と、どうコミュニケーションをとればよいかわかりません。

A 一言に障害といっても大まかに知的障害、身体障害、精神障害があり、障害が重複している方もいます。しかし、障害の種類や程度によって特性はあっても、同じ障害なら同じ対応になるというわけでもありません。その人個人との関わりということを大切にしながら、少しずつ信頼関係を深めていければよいと考えます。

児童分野の仕事 Q & A

Q 児童養護施設はどんな子どもが生活しているのでしょうか？

A 様々な背景があって親元で生活できない子どもたちが暮らしています。どんな理由で施設に来たかは様々ですが、近年は虐待を受けたことがある子どももいます。様々な養育上の課題がある子どもたちの心の内面を理解しつつ、専門的な支援が必要になっています。

Q 児童養護施設は住み込みが必須ですか？

A 以前は児童と共に生活をしていた時代もありましたが、近年では仕事と私生活の切り替えという点で、子供たちと別に過ごす施設がほとんど。施設敷地内の寮や施設の近所に住む場合もあります。

現場職員に聞きました！ 福祉・介護の仕事Q & A Part.3

- ◆福祉・介護の仕事の労働環境（福利厚生、人材育成等）について、こたえてもらいました。それぞれの職員が所属する法人・施設等の状況ですので、ここでの内容が全ての職場に当てはまるわけではありません。ひとつの参考として紹介します。

Q1 休暇は取れますか？

産休や介護休暇については、できるだけとってもらおうようにしています。職員、職員の家族、利用者、利用者の家族も含めて法人のファミリーと考えているので、是非使ってもらいたいと考えています。

特別養護老人ホーム
介護職員（男性）
（高齢者分野）

法人の考え方として有休を積極的にとるように言われています。「2ヶ月に1回は必ず有休を取得する」というルールがあり、自分も5連休とりました。ただしホーム長として「24時間対応」という気持ちでいつもスタンバイできるように心がけています。

認知症対応型グループホーム
ホーム長（男性）
（高齢者分野）

有休は1時間単位でとれるので、通院や子どものお迎えなどに利用しやすいです。現在、妊娠中ですが、シフト制なので公休日が平日となった場合は、検診にあてています。育児中は2時間早く帰宅できる制度もあるなど、出産・育児を支援する制度が整っており、何人も復帰しています。

障害福祉サービス事業所
生活支援員（女性）
（障害者分野）

Q2 入職後のスキルアップ等のサポートや、職員研修などがありますか？

OJT、OFF-JT、施設内外の研修が充実しています。特にOFF-JTでは、中堅・リーダー職員を対象に事故防止対策、感染症防止対策など毎月異なったテーマで研修を実施しています。また、亡くなる利用者に対する「グリーフケア（死別などでの喪失感などに対するケア）」があり、職員が孤立しないようなケアを大切にしています。

特別養護老人ホーム
介護職員（男性）
（高齢者分野）



新人育成については1年間かけて実践の中で徐々に行います。まずは日勤、早番、遅番、夜勤、医療的ケアなどと徐々にレベルアップしていくので安心です。また、職員向けの国家資格（介護福祉士、社会福祉士）、ケアマネジャー受験対策講座や、介護職員初任者研修などを実施する研修センターがあります。

身体障害者支援施設
生活支援員（男性）
（障害者分野）

新入職員に対して先輩社員が面倒をみるチューター制度を導入し、仕事上の指導・教育はもちろん、職場での不安や悩みを聞く役割を担います。研修については職員による「研修委員会」があり、職員の研修満足度や意見をもとに、経験別に必要な情報、知識、技術の内部研修を行っています。

特別養護老人ホーム
介護職員（男性）
（高齢者分野）

Q3 給料はどのくらいもらえますか？ 生活していけますか？

昇給やボーナスなどの給与体系が整備されていることなどから、毎月の給与に大きな変動はなく安定しています。法人内の職員には一戸建てを購入した人も多くいます。安定した給与が得られることで計画的に人生設計を立てることができます。

特別養護老人ホーム 介護職員（男性）
（高齢者分野）

専業主婦の妻と子供2人で持ち家（戸建）に住んでいます。私ひとりの収入で生計を立てていますし、時給換算するとあまり前職と変わらないかもしれません。また前職は終電までの残業が多々ありましたが、今はほとんどありません。残業がないので、家にいられる時間が格段に増えました。家族サービスや趣味の時間が増え、ストレス解消のひとつとなっています。

特別養護老人ホーム 介護職員（男性）
（高齢者分野）

福祉人材センター個別相談・就活専門相談の利用の仕方

福祉人材センターでは、多くの県内福祉施設・事業所の情報をもつ相談員が、福祉・介護の仕事の内容や職種、資格取得や就職活動に関するアドバイスなど、ひとりひとりの相談に丁寧にいねいに対応しています。



- 福祉の仕事に興味はあるけどどんな仕事かわからない…
- 資格がないと働けないのか？また、取得方法は？
- 施設がたくさんあってどうやって探していいかわからない
- その他、「福祉の仕事」について色々聞きたい！ 方は…

『福祉の仕事相談』をご利用下さい!!

相談日：毎週月曜～金曜日（祝祭日は除く）
 時間：AM 9：00～12：00 PM 13：00～17：00
 ※相談は予約制です。（☎045-312-4816）
 ※相談時間は1回30分です。

- 履歴書や職務経歴書をどのように書いたらよいかわからない。
- 履歴書、職務経歴書を書いたけど、自信がない。
- 面接でうまく喋れない…アピールするにはどうしたらよい？
- その他、「福祉の仕事」について色々聞きたい！ 方は…

『就活専門相談』をご利用下さい!!

相談日：毎週土曜日
 時間：AM 9：00～11：30 PM 13：00～17：00
 ※相談は予約制です。（☎045-312-4816）
 ※相談時間は1回30分です。

就職活動中の人へ～求職登録のご案内

福祉・介護での就職をめざし就活中の人は、福祉人材センターの「求職登録」をお勧めします。登録すると、以下のサービスが受けられます。

- 就職活動に役立つセミナーやイベントのお知らせをダイレクトメールや電子メールでご案内します。
- 福祉・介護の職場の見学や体験を、希望を受けてコーディネートします。
- 応募したい求人事業所があればセンターから「紹介状」を発行できます。

おもな福祉人材センターの事業

- 窓口相談・地域出張相談
- 福祉の仕事ミニセミナー（毎月第2・第4金曜日）
- 福祉の仕事を知る懇談会（毎月第3土曜日※4月を除く）
- 福祉・介護の職場の見学や体験のコーディネート
- 福祉の仕事フェア（就職支援ガイダンス・合同就職相談会）
- 各種ガイダンスの実施（要望を受けて高校や専門学校、大学等で出張ガイダンスをおこなっています）

福祉人材センターの所在地等



社会福祉法人 神奈川県社会福祉協議会かながわ福祉人材研修センター・福祉人材センター

住所・連絡先

〒221-0835 神奈川県横浜市神奈川区鶴屋町2-24-2
 かながわ県民センター13階

TEL 045-312-4816 FAX 045-313-4590

E-mail jinzai@knsyk.jp

HP <http://www.knsyk.jp/jinzai/>

アクセス

横浜駅西口またはきた西口を出て、徒歩およそ5分



だからあなたに知ってほしい

介護はとてもクリエイティブな仕事－毎日毎日違う発見がある

(福) 明友会 特別養護老人ホーム 富士見園 統括課長 小林 学さん

介護の仕事は、無資格・未経験でもできる業種ですが、決して誰にでもできる仕事ではありません。精神的にも肉体的にもきつい仕事です。でも、私は20年続けています。なぜでしょう？

介護はとてもクリエイティブ（創造性、創造的）な仕事です。そして、コミュニケーション能力、対応力が求められる仕事です。毎日毎日、オムツ交換や入浴介助ばかりを黙々とやっていたら、誰だって辞めたくくなります。ですが、高齢者との関わりの中で、毎日毎日違う発見があるはず。その事に気づくか気づかないかが、「介護はこんなものか」と「一生の仕事だ」と思うかのわかれ道です。

自分が働く場所を、自分の足で探し、目と耳で感じて

今の時代、情報があふれかえっています。ネットを検索すれば、施設の情報や評価はすぐに手に入ります。ですが自分が働く場所を、その情報だけで決めていいのでしょうか？ 自分の足で探し、目と耳で感じる事が大切ではないでしょうか？ 施設見学、職場体験、ボランティア、アルバイト等を積極的に活用して、自分にあった職場を探してみてください。

臆することなく門を叩いて

(福) 福慶会 障害者支援施設 福田の里 生活支援員 加納 周作さん

この仕事は、「専門職」と言われる職業です。

ですが1番大切なものは「相手の立場になってものごとを考えられる」気持ちです。

それは、この業界にあるどの資格を取得しようとも得られないものです。

「思いやり・気遣い・心配り」…相手に対する気持ちがじかに伝わる仕事であり、また、「感謝・笑顔・楽しさ」などがじかに返ってくる仕事でもあります。

私は、その部分にとっても魅力と充実感を得て仕事できています。

資格がないから…、経験がないので…、と臆することなく門を叩いてみてください。私も、国家資格である介護福祉士を、働いてから実務経験を積み、取得しました。未経験・無資格で門を叩き、今も支援員として頑張っている仲間もたくさんいます。

小さな興味や関心が、大きな充実感となって返ってきたひとりの経験者として、皆様にも「いい仕事だな」と感じていただけたらと思います。

社会福祉法人 神奈川県社会福祉協議会
かながわ福祉人材研修センター・福祉人材センター

かながわ福祉人材センター

検索



体験してみよう

① インタナーシップをしたい

県立高校生のみなさんのインターンシップを推進するために、地域の拠点となる高校には、「キャリアアドバイザー」が配置されており、インターンシップを受け入れる企業・施設等の確保など、インターンシップの拡充をすすめています。介護や福祉の職場でインターンシップをしてみたいと思ったら、まずは、担任の先生や進路指導の先生に相談してみよう。

② ボランティア活動をしたい

かながわ福祉の仕事を知らるためにはボランティア活動も一つの方法です。社会福祉協議会のボランティアセンターでは、ボランティア活動に関する情報を提供していますので、相談しましょう。

- かながわボランティアセンター TEL:045-312-4815 E-MAIL:kvc@knsyk.jp URL:http://www.knsyk.jp/
- 市区町村社会福祉協議会ボランティアセンター

③ 福祉の仕事や資格について知りたい

かながわ福祉人材センターは、福祉の仕事をめざす方を応援しています。仕事内容や資格等、福祉の仕事に関する情報を提供しますので、相談してみましょう。

- 福祉人材センター TEL:045-312-4816 E-MAIL:jinzai@knsyk.jp URL:http://www.knsyk.jp/

【社会福祉施設に行く時の心がまえ】

- 見学のマナーや手続きの方法を先生に確認しましょう。
- 施設が利用者の生活の場であることに配慮して行動しましょう。
- 利用者の人権に配慮した行動をしましょう。
- 学習の課題や目的を達成するため、具体的な質問をしましょう。
- 学校に戻ってから、観察やまとめに活用できるように記録をとりましょう。
- 見学するフロアごとに、職員や利用者の方にあいさつし、笑顔で明るい態度で接しましょう。

130



気付いたことを書きましょう。

発行：神奈川県保健福祉局地域福祉課

〒231-8588 横浜市中区日本大通1 電話 045-210-1111 (代表)

神奈川県教育委員会高校教育指導課

〒231-8509 横浜市中区日本大通33 電話 045-210-1111 (代表)

作成：社会福祉法人神奈川県社会福祉協議会かながわ福祉人材研修センター

福祉人材センター：〒221-0835 横浜市中区鶴屋町2-24-2 かながわ県民センター13階 電話 045-312-4816

福祉・介護にふれてみよう

～神奈川の高齢社会を支えるために～

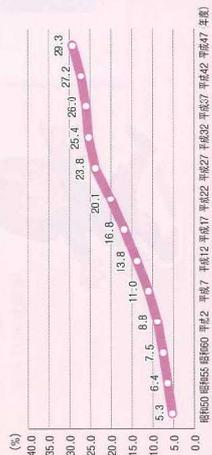
高齢者とは

「高齢者」をキーワードに、どのようなことが思い浮かぶか書いてみよう。

例：おばあちゃんの知恵袋、経験豊富、杖、優先席 等



【高齢化率の推移】

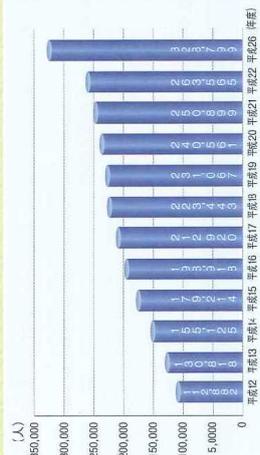


【活躍する高齢者】



こゆるぎ体操 (中井町)

【要支援・要介護認定者の推移】



おやし倶楽部 (南足柄市)

調べてみよう

- 自分の住む市区町村の高齢化はどのように推移しているだろうか？
- 高齢化はどのようなことが要因で進んでいるのだろうか？

年 組 番 氏 名

介護とは

「介護」とは、「高齢者のお世話」というイメージがありますが、それは一面的な捉え方にすぎません。

そうしたら高齢者が自分で行えるようになるか、日常生活が充実にできるかなどといった視点に立って提供されるものが「介護」です。高齢化や核家族化が進む中、豊かな社会を形成するために、家族だけでなく、社会全体で高齢者を支えるという考え方のもと、必要とされるのが、「介護」の仕事です。

介護の仕事



神奈川県内の介護サービス事業所は、要支援・要介護高齢者の増加に伴って、大幅に増えてきています。介護サービスは、要支援・要介護高齢者の希望に沿ったサービスを提供するために、さまざまな種類があります。



【介護サービスの種類】

種類	内容
訪問系サービス	高齢者の住居に訪問し、身体介護(入浴・排せつ・食事など)や家事的なサービス(洗濯・掃除・調理・買い物など)を提供します。
通所系サービス	高齢者が施設へ通い、施設で身体介護や日中活動(リハビリテーション・レクリエーション活動など)を提供します。
入所系サービス	高齢者向けの施設で生活する高齢者に、生活全般における介護を提供します。

【介護サービス事業所の仕事】

介護サービス事業所の種類によって仕事の内容は異なりますが、主なものは次のとおりです。

種類	内容
介護サービスを提供する仕事	介護福祉士などの介護職員が、利用者の身体介護や生活援助などの介護サービスを提供します。
介護の計画を作成する仕事	介護支援専門員(ケアマネジャー)が利用者の希望を聞き、ケアプラン(介護支援計画)を作成するとともに、介護サービス事業所との連絡調整を行います。
生活相談に応じる仕事	生活相談員が利用者の相談援助や、入退所の手続き、家族との連絡調整を行います。
医療的ケアを行う仕事	看護師が利用者の日常的な健康管理や、医療的ケア、衛生管理を行います。
栄養管理を行う仕事	栄養士が献立の作成、食材の発注、給食施設の衛生管理、利用者の食生活の改善や指導などを行います。
リハビリテーションを行う仕事	理学療法士・作業療法士が心身機能の維持回復を図るための訓練(リハビリテーション)を行います。

●自宅の近くにはどのような介護サービス事業所があるだろう？

●そこでは、どのような介護サービスを提供しているだろう？



【現在、施設で働いている職員からのメッセージ】

協力：(福)吉祥会 介護老人福祉施設 寒川ホーム

神田橋 良美 (かんたはし よしみ)さん 介護職2年目

母が寒川ホームで働いている姿を見て、介護職員として働くことを決めました。高校を卒業してすぐに就職したため、1年目は介護職員としてだけでなく、社人としても覚えることが多く、大変でしたが先輩職員やファミリー(利用者)からの教えもあり、1年を過ごすことができました。ボランティア活動やインターンシップ等で実際に介護を体験してみると、「介護職」の魅力がわかってきましたので、ぜひ一度、体験してみてください。



能渡 緑 (のどゆかり)さん 介護職3年目

高校に入学するまで、施設に関わったことがありませんでした。しかし、祖母の介護を手伝うようになってきたことがきっかけとなり、介護職をめざすようになりました。高校を卒業後、寒川ホームで働き始め、3年目を迎えた現在、技術や知識の向上のため、介護福祉士の取得をめざし、日々努力しています。「介護」という大変なイメージがあるかもしれませんが、日常生活のお手伝いであって、全てが大変なわけではありません。楽しい仕事です！



小山 志織 (こやま しおり)さん 介護職4年目

高校3年生の夏のインターンシップをきっかけに介護職に興味を持ち、就職を決めました。特に資格は持っていませんでしたが、入職後、自分なりに専門用語や技術を勉強し、現在はショートステイ(短期入所生活介護)で勤務しています。介護職として勤務しているところ、ファミリー(利用者)の方から感謝されることも多く、自分が人の役に立つていることを実感できると共に、病氣や身体機能等、自分自身の生活の中でも役立つものをたくさん身につけることができます。この仕事は無くなることなく、さらに長く働き続けられるものだと思いますので、ぜひ、一度現場に来てみてください。



介護に関する資格

介護職員として働くためには必ずしも資格は必要ありませんが、一部、資格を必須とする職種もあります。主なものとしては次のような資格です。

種類	内容
社会福祉士(国家資格)	社会福祉に関する専門知識と技術を持ち、障害等により日常生活を営むことに支障がある方の生活福祉相談を受け、制度や福祉サービスの情報提供、助言、指導、連絡、調整なども行います。
介護福祉士(国家資格)	介護に関する専門知識と技術を持ち、障害等により日常生活を営むことに支障がある方について心身の状況に応じた介護を行い、本人・家族等への助言、指導を行います。
実務者研修修了	幅広い利用者に対する基本的な介護や、医療的ケアを行います。なお、研修修了者は、介護福祉士の受験資格を得ることができます。(あわせて3年以上の実務経験が必要となります。)
介護職員初任者研修修了	基礎的な知識・技術を持ち、介護業務を行います。なお、研修修了者は、訪問介護員(ホームヘルパー)の業務も行うことができます。
介護支援専門員(ケアマネジャー)	要介護者等からの相談に応じ、心身の状態に応じてケアプラン(介護支援計画)を作成し、関係機関と連絡調整を行います。



かながわ福祉人材センターでは、福祉の仕事への理解・関心を広げ、人材を必要としている施設・事業所と福祉の職場で働きたい人の橋渡し役として、無料職業紹介事業をはじめ、社会福祉法にもとづき、さまざまな事業を実施しています。

福祉の仕事 相談

福祉職場の経験者・未経験者の相談員(キャリア支援専門員)が、そのようご分野・仕事をしたいのなかにお話を伺い、就職活動の仕方等一緒に考えさせていただきます。就職後のフォローアップの相談も受け付けています。



「福祉の仕事ってどんな仕事？」

福祉の仕事セミナー

毎月第2、4週目の金曜日(毎月第2、4週目の土曜日の午後2時から、センター内の会議コーナーを利用し、「無資格・未経験での就職」「職業適性」などの具体的なテーマに沿って、相談員がわかりやすく説明します。



福祉の仕事を知る懇談会

毎月第3週目の土曜日の午後1時から現場で活躍する職員にご協力いただき、それぞれの仕事内容や魅力、やりがいなどを紹介していただきます。講師を個人での懇談会や、個別相談の時間も用意しています。



132 専門相談 (土曜日)

「履歴書や職務経歴書などのように書いてはらいまいからいい！」面接でうまく話せない...うまくアピールするにはどうしたらいいか!といったご相談に専門の相談員がお応えしています。



福祉のしごとフェア

福祉施設・事業所の人事担当者の方に参加をしていただき、求職者と求職希望者が出会い、面談につなげる機会を提供しています。



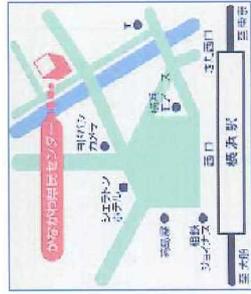
このほかにも各地で出張相談や学校等での出張セミナーなどもおこなっています。

詳しくは直接センターにお問合せいただくか、HPをご覧ください!

福祉・介護の仕事のことなら...

かながわ福祉人材センター
 社会福祉法人 神奈川県社会福祉協議会
 かながわ福祉人材研修センター・福祉人材センター

〒221-0835 横浜市神奈川区鶴屋町 2-24-2 かながわ県民センター13階
 電話 045-312-4816 (福祉人材センター) FAX 045-313-4590
 メール jinzei@knsykc.jp
 開所 月曜日～土曜日 9時～17時15分(日曜、祝日、年末年始、かながわ県民センター休館日はお休みです)



かながわ福祉人材センター 検索

福祉のお仕事 検索

福祉のお仕事 検索

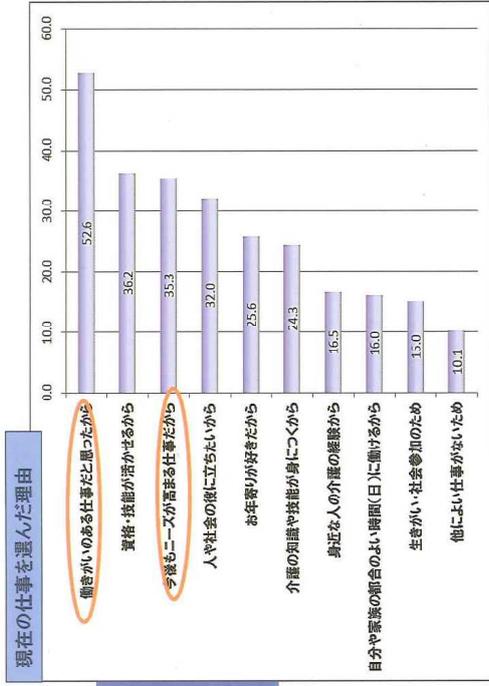
知ってほしい 私たちの仕事 福祉・介護の仕事のこと



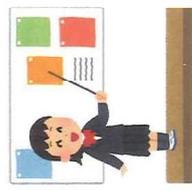
社会福祉法人
 神奈川県社会福祉協議会
 KANASAMA Welfare manpower Center

福祉・介護の仕事のことなら、
 かながわ福祉人材センターへ

福祉・介護の仕事は将来性とやりがいと誇りにあふれた仕事です。



福祉・介護の仕事は、
働きがいがあり、
今後必要とされる
価値ある仕事です



福祉・介護の仕事は、人を幸せにする仕事。 そして、自分も幸せを感じられる仕事です。

ご利用者のかかわりの中で多くのことを学び、成長することができ、満足できる仕事です。

介護の仕事は本当に人と人が支えあって成り立っている仕事だと実感する事ができます。ご利用者の言葉に救われ、また頑張ろうと思えることでもあります。他の職種では得られない経験が、介護にはあると思います。

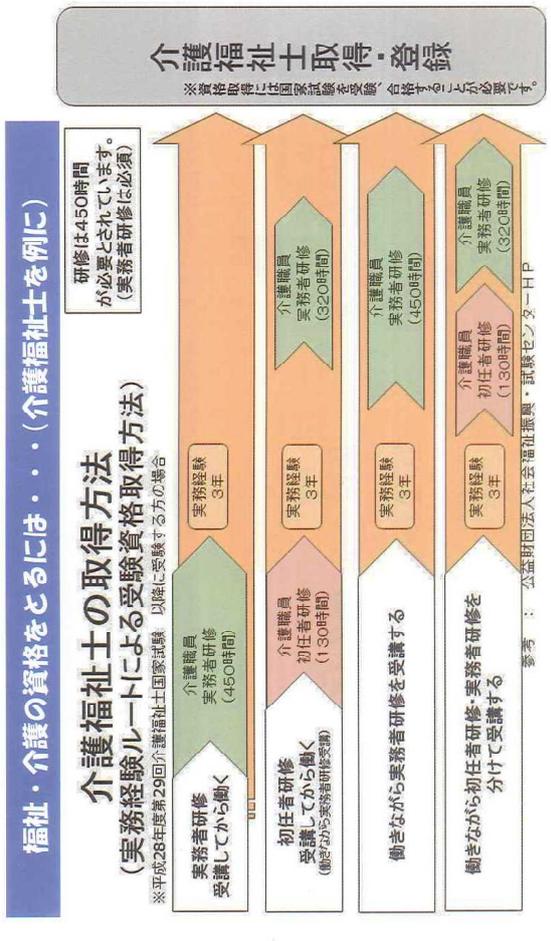
少しいでも自分の力で人が幸せになってくれたことへの喜びや、難しい問題に対して解決した時の達成感があります。また、介護職の専門家としての「誇り」もやりのひとことです。

認知症で入浴することが理解できず泣き出しそうになっている祖母がスタッフの一声で表情を和らげた。すごいなあ〜！と感じた中学の時の思い出がこの仕事に進んだきっかけです。

超高齢社会を迎える中で、だれもが安心して暮らせる社会であるためには必要不可欠な、社会的責任のある仕事です。

この仕事のよさは「チームプレー」にあります。利用者さんのためにチームで支援を考え、実践する中で、成果が実感できた時の喜びはとて大変大きいものです。

神奈川県内の
福祉施設等の現場で働く
職員の方たちから寄せられた
メッセージです



出前授業（進路選択学生等支援事業）

目的

- 将来の福祉・介護人材を養成する介護福祉士・社会福祉士等養成施設においては、深刻な定員割れの状態にあり、このままでは、サービス提供を担う人材の確保やサービスの水準の維持に支障を生ずるおそれがある。
- このため、養成施設に、専門員を設置し、次のような取組を通じ、若い世代や地域の人材確保を推進する。

(対象)

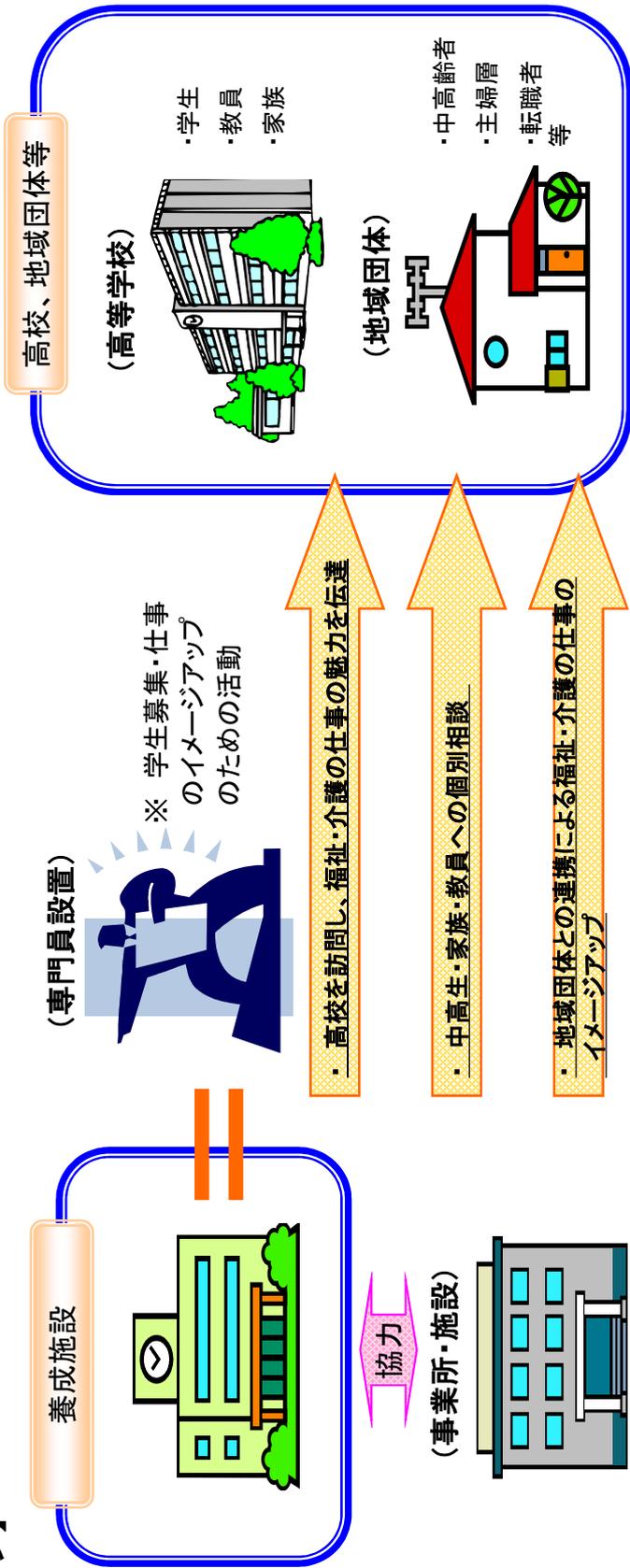
- ・ 中高生、家族、教員
- ・ 中高齢者、主婦層、転職者等
- ・ 地域団体・機関等

(活動内容)

- ・ 福祉・介護の仕事の魅力や実情を紹介
- ・ 就学・研修受講に向けて、個別に相談・助言・指導等を行う
- ・ 理解促進、意識啓発のための地域イベント、説明会等を開催

※ 定員充足率60%未満の養成施設(介護福祉士、社会福祉士、精神保健福祉士)を対象。

【イメージ】





平成27年度 小学生親子

バス教室

みんなで一緒におやつを作ろう

参加費無料(昼食付)

期日・会場

8月
4日(火)
9:30~16:00

高岡会場

特別養護老人ホーム **鳳鳴苑**
ほうめいえん

8月
5日(水)
9:30~16:00

上市会場

特別養護老人ホーム **常楽園**
じょうらくえん

上市老人保健施設
つるぎの庭

対象

県内の小学5、6年生と
その保護者の方
(父母・祖父母など)

定員

1会場あたり
15組30名

「福祉」ってナニ？

それは、だれもがその人らしく幸せに生きること
楽しい一日でありたい・・・
自分らしい生活を送りたい・・・
年をとっても心豊かに過ごしたい・・・
困ったことをだれかに相談したい・・・
そんな願いを支えることが福祉の役割です。
福祉のしごとは、この人たちによりそうことで
笑顔が生まれ、地域社会に役立つ大切な仕事です。

主催

社会福祉法人 富山県社会福祉協議会
富山県健康・福祉人材センター

後援

富山県、富山県教育委員会、富山県社会福祉法人経営者協議会、
富山県老人福祉施設協議会、富山県介護福祉士会

福祉の
しせつって
どんなところ？

福祉の
仕事って
何するの？

年をとったら
どんな助けが
必要になるの？

夏休みの
宿題のテーマは
何にしよう？



キリトリ線

料金受取人払郵便

郵便はがき

9 3 9 8 7 9 0

富山南局
承認

7111

差出有効期間
平成27年7月
31日まで
(切手不要)

(受取人)

富山市安住町5番21号
サンシップとやま
社会福祉法人富山県社会福祉協議会
富山県健康・福祉人材センター 行

キリトリ線



☆平成27年度 日程表☆

※交通事情などにより変更する場合があります。

会期	場日	高岡会場 8月4日(火)	上市会場 8月5日(水)
集出	合発	9:00 JR高岡駅瑞龍寺口 (高岡市下関町6-1) 9:15 貸切バスにて移動	8:00 JR富山駅北口または 魚津駅(あいの風とやま鉄道)に集合 8:15 貸切バスにて移動 8:45 上市町社会福祉協議会にて合流 9:20 貸切バスにて移動
施設到着		9:30 特別養護老人ホーム鳳鳴苑 (高岡市蔵野町3 電話 0766-31-4567)	9:30 上市老人保健施設つるぎの庭 (上市町森尻704 電話 076-473-0070) 9:30 特別養護老人ホーム常楽園 (上市町館209 電話 076-472-3993)
施設での活動		<ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション(施設内見学、福祉用具の操作など)、仕事の体験 ・施設にて昼食(当方で用意) ・利用者との交流(おやつ作り等)、働く人のお話、感想、アンケート記入など 	
施設出発	到着	16:00 鳳鳴苑 出発 16:15 高岡駅瑞龍寺口にて解散	16:00 つるぎの庭 出発 16:00 常楽園 出発 16:10 上市町社会福祉協議会にて合流 16:30 貸切バスにて移動 17:00 富山駅北口、魚津駅にて解散

キリトリ線



※ご記入いただいた個人情報は、富山県健康・福祉人材センターの事業運営以外には使用いたしません。
※希望される施設に○をつけてください。

期日	8月4日(火)	8月5日(水)	8月5日(水)
施設	鳳鳴苑	つるぎの庭	常楽園

学校名	小学校	学年	年
小学生	ふりがな 氏名		男・女
保護者	ふりがな 氏名		男・女
住所	〒		
電話	ご自宅 () - - 保護者の携帯 (当日緊急連絡用) - -		

キリトリ線

☆持ち物など☆

- ◆参加決定通知書 (決定後に送付します。これがないと参加できません)
- ◆しおり (後日送付します)
- ◆内ばき、筆記用具、水とう、タオル、エプロンなど

服装はジャージ、体操服などの動きやすいものを着てきてください

☆申込方法☆

- ①左の申込用紙に必要事項をご記入ください。
 - ②ミシン目にそって切りはなします。
 - ③**7月16日(木)**までに郵便ポストに投函ください。(切手はいりません)
- ※申込み多数の場合は、抽選となります。
(参加決定通知書を別途郵便にてお送りします。)

☆お申込み・お問合せ先☆

社会福祉法人 富山県社会福祉協議会
富山県健康・福祉人材センター
 (〒930-0094 富山市安住町5-21 サンシップとやま)
電話 076-432-6156

福祉の仕事セミナー開催要領

～福祉の仕事に関心のある高校生のみなさんへ～

1. 目的 福祉の仕事を目指している、または関心のある高校生を対象に、福祉についての理解を深めるとともに、福祉施設等での職場体験を通じて「福祉の仕事」に対する魅力を体感し、今後の進路の選択肢の1つとして考えてもらい、福祉現場への就労促進と人材の定着化を図ることを目的として開催します。
2. 主催 山梨県社会福祉協議会 福祉人材センター
3. 後援 山梨県教育委員会
4. 日程

1日目:平成28年2月1日(月)	山梨県立図書館
2日目:平成28年2月2日(火)	} 県内社会福祉施設での職場体験 (高齢者、障害、児童)
～	
平成28年2月5日(金)	

2日目は上記期間中において1日間の職場体験実習(以下、「職場実習」という)を行います。実習日は主催者と受入施設で調整し、後日ご案内します。なお、施設等との調整により上記の期間外になる場合もあります。
5. 対象 高校生(学年は問いません)、担当教諭
6. 定員 100名
7. 申込方法
 - (1)別紙「参加申込書」にご記入の上、12月9日(水)までにFAXまたは郵送等により学校単位でお申し込みください。なお、定員になり次第締め切りとさせていただきます。
 - (2)1日目の実技講習・2日目の職場実習については、高齢者・障害・児童の中から希望する分野の優先順位をご記入ください。なお、受入定員の都合上、希望に沿えない場合もございますのであらかじめご了承ください。
 - (3)先生方の職場実習も可能です。
8. 参加費 無料
1日目の講義・実技講習、2日目の職場実習においては、主催者にてボランティア行事用保険に加入します。ただし、県立図書館及び実習施設までの交通費・昼食代等はお負担ください。
9. その他
 - (1)職場実習には、健康診断書が必要です。
 - (2)2日間とも昼食は各自ご用意ください。
 - (3)服装は動きやすく汚れても良い服装(スカート不可)、靴は運動靴(ゴム底)で参加いただくとともに、着替え、タオル等をご用意ください。
 - (4)実習先施設については主催者で調整させて頂き、別途ご案内します。できるだけ学校または自宅に近い施設を調整しますが実習先施設の都合により遠方になる場合もあります。
10. 個人情報の取り扱いについて

お申し込み時にいただく個人情報は、「山梨県社会福祉協議会 個人情報保護規程」により、以下の目的にのみ使用します。

 - (1)本セミナーの運営管理(記録)
 - (2)実習施設との実習生受入依頼、実習報告(学校名、氏名、学年、健康診断結果のみ)

11.日程

時間	内 容	会 場
(第1日目) 2月1日(月)		
10:00	受付	山梨県立図書館 2階 多目的ホール 甲府市北口2丁目 8番1号
10:20	開会・オリエンテーション	
10:30	講義：「福祉の仕事」について 山梨県福祉人材センター	
10:40	講義 「福祉について学ぼう」 講師：山田あかね 氏 ・福祉って？福祉の仕事ってどんなこと？高齢者・障害者・ 児童・・・と様々。福祉の魅力について幅広く情報を発信し、 福祉の仕事への理解を深めます。	
12:10	説明：職場実習について	
12:15	昼食	
13:15	実技講習(~15:15) ○ 高齢者を知ろう...「介護講座」 講師：山梨県立介護実習普及センター職員 市川恵美子 ・高齢者疑似体験を行い、高齢者の身体的特徴や簡単な介護 知識について学習します。 ○ 障害者を知ろう...「レクリエーション講座」 講師：山梨県障害者福祉協会職員 北野茂樹 氏・斉藤玉木 氏 ・障害には一言では表せない様々な個性があります。聴覚・視 覚・身体が不自由な方々の気持ちに寄り添えるような疑似体 験やレクリエーションを通じてコミュニケーションを図ることを体 験し、障害者の知識について学習します。 ○ 児童を知ろう...「あそび・学び講座」 講師：帝京学園短期大学 井上聖子 氏 ・児童との接し方や同じ目線で考えることを経験するとともに、 工作実習などを通じその特性について学習します。	
15:30	閉会(各会場ごと終了・解散)	2階 多目的ホール 1階 イベントホール 東面 1階 イベントホール 西面
(第2日目) 2月2日(火)、3日(水)、4日(木)、5日(金) 上記のうちいずれか1日		県内各社会福祉施設
8:30	オリエンテーション 職場実習 実習先施設・日程は後日指定します。 施設日程に沿ってそれぞれ実習 1. 高齢者福祉施設 2. 障害者福祉施設 3. 児童福祉施設(保育所/障害児) なお、施設等との調整により上記の日程以外になる場合もありま す。	
16:00	終了	

12. 問い合わせ・申し込み先

山梨県社会福祉協議会 福祉人材研修課 (担当:小林)

〒400-0005 山梨県甲府市北新1-2-12 山梨県福祉プラザ4階

TEL 055-254-8654 FAX 055-254-8614

メール kobayashi@y-fukushi.or.jp

- 1. 目的** 高校生が卒業後の進路を考える際に、福祉・介護サービス分野も選択肢のひとつとしてもらうため、進路指導の担当教諭等に、進学や就職等の進路指導に必要な福祉の仕事や資格取得方法、また、福祉人材養成校等に関する情報提供を行うとともに、福祉人材養成校、福祉人材センター等との意見交換の機会を設け、福祉人材の確保に資することを目的とします。
- 2. 主催** 社会福祉法人 山梨県社会福祉協議会
- 3. 後援** 山梨県教育委員会
- 4. 期日・会場** 平成27年12月9日(水)午後1時30分～(1時受付開始)
山梨県福祉プラザ4階 第一会議室
(〒400-0005 甲府市北新1-2-12)
- 5. 対象** 山梨県内の高等学校教諭
- 6. 定員** 30名
- 7. 実施内容** (1)「県内高校生の福祉現場への就労について」
講師：伊藤健次氏(山梨県立大学)
(2)「福祉の仕事」の現況について
説明：山梨県社会福祉協議会 福祉人材センター
(3)県内の介護福祉士等の養成校の学校説明と卒業後の就職状況について
・学校の概要/取得資格/卒業後の就職先 など
- 8. 申込方法** 別紙様式にて、平成27年11月27日(金)までに本会あて、郵送又はFAXでお申し込みください。
- 9. 個人情報の取り扱いについて**
お申し込み時にいただきました個人情報は、「山梨県社会福祉協議会 個人情報保護規程」に基づき、本セミナーの実施に必要な場合のみ使用いたします。

10. 日程

12月9日(水)		会場
13:30	開会・オリエンテーション	山梨県福祉プラザ4階 第一会議室
13:40	1. 「県内高校生の福祉現場への就労について」 講師：伊藤健次氏	
~		
14:40	2. 「福祉の仕事」の現況について 説明：山梨県福祉人材センター	
14:50		
~		
15:10	3. 県内福祉人材養成校職員による学校説明 (質疑応答、意見・情報交換)	
15:10	閉会	
~		
16:20		

11. 問い合わせ先・申し込み先

山梨県社会福祉協議会 福祉人材研修課(担当：小林)
〒400-0005 山梨県甲府市北新1-2-12 山梨県福祉プラザ4階
TEL 055-254-8654 FAX 055-254-8614
メール kobayashi@y-fukushi.or.jp

中学・高校生のための福祉の訪問講座 福祉を学ぼう のご案内

経験豊かな現場のプロを講師として派遣し、福祉に関する様々な疑問にお答えします。
生徒の皆さんに福祉の職場や仕事内容を知ってもらえる、進路選択の役に立つ講座です。

福祉の仕事に
就くには？

福祉の仕事に
必要な資格って？

勤務形態や勤務時間は
どうなっているの？

資格を取得する
方法は？

福祉の仕事には
どんな種類があるの？

福祉サービスって
なんだろう？

現場のプロが、さまざまな疑問・相談にお答えします！

通常授業の他、**課外授業・クラブ活動でも利用出来ますので
お気軽にご相談ください。**

無料

申し込み方法

「社会福祉施設職員」を希望される場合は、裏面の申込書に必要事項をご記入の上、郵送またはFAXにてお申し込みください。
(講師との日程の調整がありますので、開催希望日の6週間前までにお申し込みください。)

申し込み・お問い合わせ先

社会福祉法人 長野県社会福祉協議会 長野県委託福祉人材研修センター

〒380-0928長野市若里7-1-7長野県社会福祉総合センター4階 TEL.026-226-7330/FAX.026-227-0137

ホームページ <http://www.nsyakyo.or.jp> E-mail jinzai@nsyakyo.or.jp

社会福祉施設職員派遣による福祉の職場PR事業

(主催)社会福祉法人長野県社会福祉協議会 (協力)長野県社会福祉施設経営者協議会



お申し込みは、こちらの「訪問講座申込書」に必要事項をご記入の上、FAX、または下記の郵送先まで封書にてお送りください。

Fax 026-227-0137

中学・高校生のための福祉の訪問講座

訪問講座
申込書

福祉を学ぼう

申込年月日

年 月 日

■お申し込み者情報

学校名	〔ふりがな〕		
住所	〒 - -		
E-mail			
電話番号	- -	FAX番号	- -
担当者氏名	〔ふりがな〕	ご連絡先電話番号	- -

※個人情報の目的について…ご記入いただきました個人情報は、当訪問講座「福祉を学ぼう」のみに限定して利用いたします。

■訪問講座について

開催希望日時	第一希望	H 年 月 日 ()	午前 時 分 ~ 午後 時 分
	第二希望	H 年 月 日 ()	午前 時 分 ~ 午後 時 分
	第三希望	H 年 月 日 ()	午前 時 分 ~ 午後 時 分
講座の利用対象	対象生徒	年生 人(人数をご記入ください。)	
	<p>当訪問講座の位置付けとして該当するものを以下から選んで、チェック(☑)をしてください。</p> <p><input type="checkbox"/> 通常授業として利用する。</p> <p><input type="checkbox"/> 課外授業として利用する。</p> <p><input type="checkbox"/> クラブ活動として利用する。</p> <p><input type="checkbox"/> その他()</p> <p>希望する講話の内容についてご記入ください。</p>		

※日程の調整がつき次第、追ってこちらからご連絡さしあげます。

郵送先

〒380-0928 長野市若里7-1-7 長野県社会福祉総合センター4階
社会福祉法人 長野県社会福祉協議会 長野県委託 福祉人材研修センター 宛

お問い合わせ TEL.026-226-7330 (受付時間 平日8:30~17:00)

京都府 大学連携新卒者確保事業

全学部対象

広がる可能性を学生に。

京都府：参考資料

～ご要望に合わせた福祉のキャリア教育プログラムをご提案します～

福祉業界の魅力、 伝えます。

■ 京都府 大学連携新卒者確保事業

京都府大学連携新卒者確保事業とは、大学・短期大学、専門学校等と福祉業界との連携・協働によって学生が福祉業界へ就職し、定着することを目的としている事業です。

この事業では、**6つのプログラム**をご提供しています。

<各校のニーズやご要望に合わせて企画・運営を行うオーダーメイド型>

6つのプログラムメニューから選択

学内業界
ガイダンス

福祉職場
インターン
シップ

学内合同
就職説明会

学内
出前講座

福祉就活
サポート
プログラム

北部福祉
フィールド
ワーク

参加した
学生



みんなの声

VOICE

- 福祉全般のこと、就活するにあたってのアドバイスなど、役立つお話を聞くことが出来た。(学内業界ガイダンス)
- 福祉職は自分には向いていないかなと思っていたが、今日のガイダンスを聞き、福祉業界への就職に自信が持てた。(学内業界ガイダンス)
- 職員の方と交流を持つことができ、たくさんの情報を得ることができた。(学内合同就職説明会)
- 事業所や仕事内容についてのイメージが持てた。(学内合同就職説明会)
- インターンシップの実際の体験はもちろん、そのための学習・振り返りにより、自分と向き合えるきっかけであったり、視野の広がりなど自分にとってプラスになる様なプログラムばかりで大変有り難く感じた。(福祉職場インターンシップ)
- セミナーやインターンシップで就活の基礎や福祉介護職の知識を身につけることで、安心して施設の選考に進める事ができました。(福祉就活サポートプログラム)
- 北部地域は行政と施設が密に連携しており、様々な視点から福祉を学べた。後輩にもぜひお勧めしたい。(北部福祉フィールドワーク)

プログラム概要

事業の企画・運営は京都府福祉人材サポートセンターが強力でバックアップします。

学内業界 ガイダンス

随時

福祉の魅力を伝えます！



現場職員による講演や座談会、福祉の就活の説明等、福祉業界の理解や魅力を分かりやすく伝えます。

福祉業界 インターン シップ

夏休み

全学部対象！ 体験先を学生が選べる！



全学部・全回生を対象に、夏休みに気軽に福祉職場体験をしていただけます。事前・事後学習も充実しているため、福祉系学部以外の学生でも安心です。

説明会⇒申込⇒事前学習会⇒
インターンシップ⇒事後学習会

学内合同 就職説明会

随時

福祉の優良事業所を 紹介します！



学内で実施される合同就職説明会の場へ、福祉の事業所に出展いただきませんか？ 京都府が推薦する「きょうと福祉人材育成認証事業所」を紹介します。

※大学4回生、短大2回生対象

学内 出前講座

随時

現場のリアルを授業に！



教員等にご協力いただくことにより、ゼミや授業等時間を活用し、福祉業界の職員による講演や現場の声を伝える座談会等の出張講座を実施します。

福祉就活 サポート プログラム

8月～3月

福祉への就職を全面的に サポート！資格も取得できます



業界理解から面接対策まで様々な研修で学生をサポートし、福祉事業所の内定獲得を目指します。プログラムでの内定者は初任者研修を無料で受講できます。

※大学4回生、短大2回生対象

北部福祉 フィールド ワーク

随時

京都府北部で現場を体感！



京都府北部地域で福祉に関する実習やフィールドワークをやってみませんか？ 京都府が北部の福祉施設と大学とのマッチングやプログラムづくりをサポートします。

実施した 大学



みんなの声

VOICE

- 福祉現場の職員の方に福祉の現場の説明をいただいたことで学生にとってもイメージがしやすく、福祉業界への興味喚起に繋がった。(学内業界ガイダンス)
- OB・OG を招聘し、福祉職場の現状だけでなく、より具体的な就職活動について話してもらったことが、学生にとって身近に感じられ今後の就職活動に大いに役立ったと感じた。(学内業界ガイダンス)
- 学内での合同就職説明会で福祉業界の方々との接点を設けたことで、業界に対するイメージや不安の払拭に繋がった。(学内合同就職説明会)
- インターンシップは、福祉業界に興味があるものの何から初めて良いかわからない学生にとって、現場への入り口としてとても有意義なものだった。(福祉職場インターンシップ)
- 福祉業界への就職までのプログラムが充実していて、安心して学生に案内できるプログラムであった。(福祉就活サポートプログラム)
- 少子高齢化が進んだ北部地域では、全国でも先進的な取組事例が数多くあり、学生にとって良い実践機会になるとともに、将来の職業選択にも繋がると感じた。(北部福祉フィールドワーク)

年間スケジュール



本事業は、京都府及び京都府福祉人材・研修センターが協働して企画・実施します

実施主体

京都府

お問合せ
お申込

information



京都府福祉人材サポートセンター事務局

〒601-8047 京都市南区東九条下殿田町43 メルクリオ京都202

TEL・075-693-8703 FAX・075-693-8704

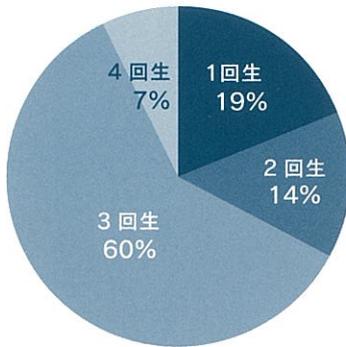
平成25年度 大学連携新卒者確保事業 実施実績一覧

大谷大学／京都学園大学／京都経済短期大学／京都光華女子大学／
 京都嵯峨芸術大学／京都産業大学／京都女子大学／京都精華大学／
 京都橘大学／京都ノートルダム女子大学／京都府立大学／
 京都文教大学／種智院大学／同志社大学／花園大学／佛教大学／
 立命館大学／龍谷大学／大阪学院大学／甲南大学／
 四条畷学園短期大学／帝塚山大学／天理大学／京都医健専門学校／
 京都YMCA国際福祉専門学校

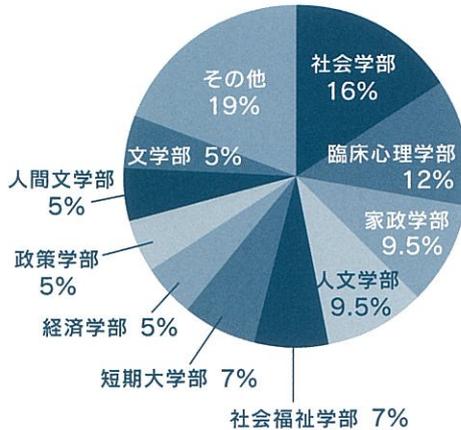
これまでの **実績**

大学・学部・学年を問わず
 キャリア教育プログラムを実施した大学と
 学生たちの平成25年度実績です

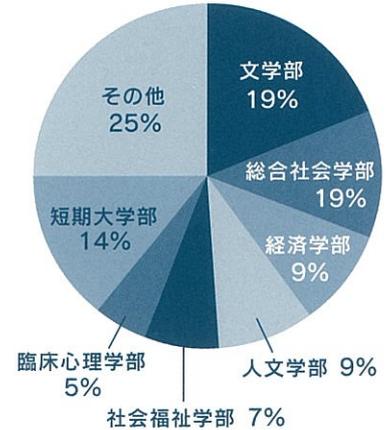
学年別 インターンシップ参加者



学部別 インターンシップ参加者

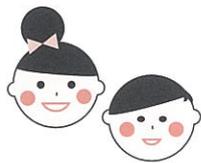


学部別 福祉就活サポートプログラム参加者



学部別 福祉就活サポートプログラム参加者
 その他 25% 内訳

教育学部／国際言語学部／
 キャリア形成学部／家政学部／
 人間科学部／人間環境学部／
 人間人文学部／文化学部／
 法学部／歴史学部／バイオ環境学部



さまざまな学部の
 学生たちが
 参加しています！

message
 メッセージ

現在、福祉の職場で活躍する職員からのメッセージ

～キャリア教育プログラムを通して、こんな声を学生に届けます～



就職先をどこにしようかと大変迷って困っていた時に、**キャリアセンターから福祉就活サポートプログラムを紹介されました。**もともと福祉の仕事に興味を持っていたので、**色々学べて、さらにインターンシップにも参加できたので、プログラムにとっても感謝しています。**



就職後もいろいろな研修を受け、資格を取ることのできるので、大学で福祉の勉強をしていない人も安心して働けます。

まずは福祉業界ガイダンスに参加して、**就職の選択肢を広げて欲しい**です。福祉の現場では、様々な方が活躍しており、学生時代に福祉の勉強をしていない人だからこそできることも沢山あります。迷わず福祉業界に飛び込んで欲しいと思います。



Attention!
注目!!

きょうと福祉人材育成認証制度

～京都で安心して長く働ける職場を紹介しています～

概要

京都府では、全国に先駆けて「きょうと福祉人材育成認証制度」を創設しました。研修等で福祉事業所を支援すると同時に、京都府の定める4分野17項目の認証基準を全てクリアした「人材の育成・定着に取り組む」福祉の事業所を認証し、紹介しています。福祉業界が若者にとって安心して就職できる場所となるよう、福祉業界と行政が連携して取り組んでいます。

認証のための審査項目 4分野17項目で審査しています



- 〈新規採用者が安心できる育成体制〉 ①新規採用者育成計画の策定 ②新規採用者研修の実施
③OJT指導者に対する研修等の実施
- 〈若者が未来を託せるキャリアパスと人材育成〉 ④キャリアパス制度の導入 ⑤人材育成計画の策定
⑥資質向上研修の実施 ⑦資格取得に対する支援 ⑧人材育成を目的とした面談の実施
⑨人材育成を目的とした評価の実施 ⑩給与体系又は給与表の導入
- 〈働きがいと働きやすさが両立する職場づくり〉 ⑪休暇制度・労働時間縮減のための取組の実施
⑫出産後復帰に関する取組の実施 ⑬育児、介護を両立できる取組の実施 ⑭健康管理に関する取組の実施
- 〈社会貢献〉 ⑮きょうと介護・福祉サービス第三者評価の受診 ⑯地域や学校との交流 ⑰関係法令の遵守



- 自分の判断だけでなく、京都府が認証したという施設であれば安心!
- 働きながら自分が成長していける職場や働きやすい環境の施設を見つけられる。
- 事業所のことを自分で調べるには限界があるので、情報がまとまっていて役立つ。
- それぞれがどのような人材育成をしているのか比較できてありがたい。
- 就職先を探す・選ぶためのひとつの指標にできる。

今後もそくそくと認証事業所が誕生します! 最新状況は Webで!

京都福祉情報サイト **kyoto2g4.net** 検索

実施主体 京都府

お問合せ・お申込 京都府福祉人材サポートセンター事務局

〒601-8047 京都市南区東九条下殿田町 43 メルクリオ京都 202
TEL.075-693-8703 FAX.075-693-8704

平成27年度

福祉就職 ガイダンス

参加費無料
申し込み不要

当日は軽装(クールビズ)にて
ご参加ください

福祉の仕事を探せる! 相談できる!

職場の
魅力紹介

職場見学

福祉の
就労相談

資格の
取得等の
相談

8月9日 日 午後1時から午後4時

会場

徳島グランヴィリオホテル 1階
〒770-0941 徳島市万代町3丁目5-1 TEL.088-624-1111

参加対象

福祉の職場に関心がある
高校生・大学生・一般の方

お問い合わせ

社会福祉法人 徳島県社会福祉協議会
徳島県福祉人材センター アイネット

〒770-0943 徳島県徳島市中昭和町1-2 県立総合福祉センター3F
TEL.088-625-2040 (担当 阿部・小林) FAX.088-656-1173



徳島県福祉人材センター
アイネット

徳島県福祉人材センター アイネットでは、
様々なかたちで“福祉のプロの第一歩”を支えています。

<http://www.e-fukushi.jp/ainet/>

- 無料職業紹介(求職登録いただいた場合)
 - ハローワークでの移動相談会
 - 職場体験(未経験者・有資格者どちらもOK)
 - 就職フェア・ガイダンス 等
- 詳しくはお問い合わせください。

福祉スタンプラリー開催!

福祉スタンプラリーを開催!
お気に入りのブースを回り、
スタンプを5個以上集めて
素敵なプレゼントをゲットしよう!



主催 徳島県／徳島県社会福祉協議会 福祉人材センター アイネット

共催 徳島県市町村社会福祉協議会職員連絡会／徳島県身体障害者療護施設協議会／徳島県私立保育園連盟／徳島県児童養護施設協議会／徳島県社会福祉法人経営者協議会／
徳島県老人福祉施設協議会／徳島県知的障害者福祉協会／徳島県老人保健施設協議会／NPO法人とくしま障害者授産支援協議会／徳島県ナースセンター／徳島労働局／各公共職業安定所／
鳴門教育大学／四国大学／四国大学短期大学部／徳島文理大学／徳島文理大学短期大学部／専門学校穴吹福祉医療カレッジ／徳島健祥会福祉専門学校 (順不同)

後援 四国放送(株)／(株)エフエム徳島／(一社)徳島新聞社／(株)朝日新聞徳島総局／(株)共同通信社徳島支局／(株)産経新聞徳島支局／(株)日本経済新聞社徳島支局／(株)毎日新聞徳島支局／
(株)読売新聞徳島支局 (順不同)

目の前にある未来が学べます。

平成27年度 介護ロボット 体験学習

徳島県内の 小・中・高校生対象

参加校 募集中



「介護ロボット体験」を通じて、
子どもたちに福祉や介護の仕事の
大切さや魅力を
伝えるための体験学習です。
各校にて実施できますので、
ぜひ御活用ください。



体験予定介護ロボット

会話のできる
コミュニケーション
ロボット

サイボーグ型
作業支援ロボット

*写真のロボットは
イメージです

対象

徳島県内の小学校、中学校、高等学校の児童生徒・教職員およびPTA等のみなさま

実施期間

平成27年7月21日～平成28年3月31日

実施内容

徳島県福祉人材センターの職員が学校にお伺いし、
介護ロボットの基礎知識の説明、介護ロボットとのふれあいを行います。

実施方法

- 裏面の申込書に御記入の上、徳島県福祉人材センターへお申し込みください。
- 申込書受付後、日程等の調整等を調整の後、体験学習を実施していただきます。

備考

会場の設営等に係る経費等は申込み者にて御負担ください。
講師の派遣および説明に係る経費は徳島県福祉人材センターが負担いたします。



くわしい内容に
ついては
お問い合わせください



社会福祉法人 徳島県社会福祉協議会

徳島県福祉人材センター アイネット

〒770-0943 徳島市中昭和町1-2 県立総合福祉センター3F

TEL.088-625-2040 FAX.088-656-1173

月曜～金曜 9:00～12:00、13:00～17:00 (土・日・祝日は休み)

<http://www.e-fukushi.jp/ainet/>

平成 27 年度巡回型介護教室

県老人福祉施設協議会会員及び介護福祉士養成校、介護機器事業者等が、各地域の中学校や高校を巡回し、中高生向けに福祉用具等を活用した介護教室を開催することで、仕事としての福祉・介護の中身を具体的に知ってもらうとともに、介護の魅力の発信を図り、人材確保等につなげる。

〔東予地区〕

11月 9日（月） 今治市立南中学校

〔中予地区〕

11月11日（水） 伊予市立双海中学校

11月12日（木） 松山市立南第二中学校

12月 4日（金） 松山市立津田中学校

〔南予地区〕

10月29日（木） 愛媛県立川之石高等学校

内 容

- ・介護に関する講演
- ・介護機器及び福祉車両の体験
- ・高齢者疑似体験セットによる高齢者体験
- ・高齢者用栄養補助食品等の試食体験
- ・マッスルスーツによるデモンストレーション（中予：双海・南第二中のみ）
- ・福祉抽選会（南予地区のみ） 等

あなたの世界を 広げる最初の一歩

参加無料!

[東予]



事業所の
屋食も体験♪

事業所見学・体験バスツアー

～知ってほしい、福祉・介護の仕事～

福祉・介護の仕事は、その必要性から、今もっとも注目されている分野のひとつです。
福祉の職場ってどんなところ? 介護の仕事は大変? など、
福祉・介護の仕事に興味はあるけどよくわからないというあなた!
いろいろな事業所を見て、知って、体験することで、もっと興味がわくこと間違いなし!
福祉の職場はあなたを待っています。ぜひ、お気軽にご参加ください!!

◆参加対象

中学生、高校生(学年は問いません)、保護者、教職員等
大学生、専門学校生も参加できます。

◆期日及び見学・体験施設

平成**27**年**9**月**26**日(土)

- ①特別養護老人ホーム樋谷荘(四国中央市)
 - ②小規模特別養護老人ホームなの花(新居浜市)
 - ③障害者支援施設今治療護園(今治市)
- ※日程の詳細は裏面をご覧ください。

定員
30名

申し込み方法

裏面の申込用紙に必要事項を
ご記入の上、郵送・持参・
FAX・メールのいずれかで
お申し込みください。
申込締切 9/15

◆主催・お問合せ・お申込み先

愛媛県福祉人材センター(社会福祉法人愛媛県社会福祉協議会福祉人材無料職業紹介所)

愛媛県社会福祉協議会・地域福祉部福祉人材課

〒790-8553 松山市持田町三丁目8番15号 県総合社会福祉会館2階

TEL 089-921-5344 / FAX 089-921-3398

Eメール jinzai@ehime-shakyo.or.jp / URL <http://www.11294.net>

事業所見学・体験バスツアー

～知ってほしい、福祉・介護の仕事～

◆スケジュール◆

8:30	JR今治駅出発
9:30	JR西条駅出発
10:00	JR新居浜駅出発
10:40	JR伊予三島駅出発
11:00	事業所①「樋谷荘」見学・体験（四国中央市）
12:00	出発
12:40	事業所②「なの花」見学・体験・昼食（新居浜市）
14:00	出発
15:00	事業所③「今治療護園」見学・体験（今治市）
16:00	出発
16:20	JR今治駅到着
17:20	JR西条駅到着
17:50	JR新居浜駅到着
18:30	JR伊予三島駅到着

[連絡事項]

- ①保険に加入します（参加者の費用負担はありません）。
- ②バスの乗車場所等について、参加者に改めてご連絡します。
- ③動きやすい服装、上履き持参でご参加ください。

事業所見学・体験バスツアー参加申込書【東予】

ふりがな		性別	生年月日（年齢）	
氏名		男・女	昭・平	年 月 日 （ 歳）
学校名				
住所	〒			
連絡先	TEL	Eメール		
バス乗降場所 （○印記入）	①JR今治駅 ②JR西条駅 ③JR新居浜駅 ④JR伊予三島駅			
【備考】※連絡事項等があればご記入ください。				

※申込書に記入いただいた個人情報、愛媛県福祉人材センター及び本事業の運営目的にのみ利用することとします。

どんな仕事があるの？



○介護の仕事

身体や精神の障がい、病気などにより、日常の生活を行うのに支障がある人の介護を行います。介護福祉士・ホームヘルパー・生活支援員など。



○相談援助の仕事

サービス利用者の生活全般の相談に応じて助言・援助、精神的な支援を行います。社会福祉士・精神保健福祉士・ケアマネジャーなど。



○保育の仕事

子どもたちの保育・ケアを行いますが、基本的な生活習慣を身に付けさせたり、集団活動や社会性を育成することを支援します。保育士など。



※児童分野(保育園等)の講師を希望される場合は必ず事前にご相談ください。

福祉の仕事 出前講座

地元の福祉施設で働く若手職員を講師として派遣します。キャリア教育や職場体験、ワークキャンプ等の事前学習、福祉分野への進学・就職といった進路選択の情報を得る場等にご利用いただけます。

- 主催** 熊本県社会福祉協議会・熊本県
- 対象** 熊本県内の中学生および保護者等
- 開催形態** クラス単位、学年単位、希望者を集めて、など
- 費用** 無料
- お申し込み方法** 所定の申込書にご記入の上、FAXにてご送信ください。



介護の仕事のやりがいを伝えながら、人を支えられる人になりたい

特別介護老人ホーム 矢部大矢荘
介護福祉士 石田 奨二さん



相父のすすめて介護の仕事を始めました。介護の楽しさをよく知らないまま動き始めたので、仕事の大変さに直面したとき、正直「やめたい」と思う事もありました。その時は介護福祉士の資格取得を目指していた時期だったので、「合格してから考えよう」と思っていました。周りの人たちに支えられ合格できたことで、感謝の気持ちでいっぱいになり、仕事を続けることができました。

ずっと、つらいことは今でもありますが、一番きつい思いをしているのは介護されるお年寄りであり、そのつらさをカバーできるのが介護福祉士の仕事だと思っています。毎日の介護を通して、お年寄りの方々が介護する私達にお礼を言うことで、自分自身が喜びを感じ、お年寄りの方々が介護する私達であることを実感できるようになりました。

私は、介護を体験したことがない人たちに、介護の仕事が喜びや誇りを持てる、やりがいのある仕事であることを伝えながら、今後は自分が色々な人たちに支えられる人になりたいと思っています。

お年寄りの(特に昔の)話は笑顔で聞いてあげて下さい

特別介護老人ホーム 南苑苑 介護福祉士 山崎 汐美さん



福祉の仕事に興味をもったのは、小学校6年生のときに行った高齢者の施設での体験学習でした。その後、「獣医になりたい」と思った時期もありました。が、中学校の時の南苑苑での職場体験で「楽しそうなお仕事だな」と感じ、福祉科のある県外の高校に進学しました。

みなさんは認知症を知っていますか？認知症になると家族のことや食事のことも忘れてしまったり、感情は私たちと同じようにはありません。言葉が出なくても瞬きや手足を使ったり、時には大声で感情を表現しようとするかもしれません。何をしたいか、小さなサインに気付いてあげるのが介護福祉士の役割だと思っています。

目標がこれから福祉施設へ体験学習等で行く機会がありましたら、まずは笑顔で利用者の方と同じ目線になって話をして下さい。認知症によりすぐに忘れてしまうかもしれませんが、利用者の方の今に寄り添って、その時その時の笑顔を大切に接していければと思います。

急なお別れがきても後悔しないよう その時その時を大切に

玉東町社会福祉協議会 居宅介護事業所ふれあいの丘
介護支援専門員 山野 恵梨香さん



介護の仕事をしていると、周りの人から「大変な仕事でしょう」と言われることがあります。お年寄りを車椅子に乗せたり、オムツを交換したり、身体を洗ってあげたりなどのイメージがあるからだろうと思います。どんな大変な仕事でも、人の役にたつことが感じられたとき、この仕事を続けられる、これからは頑張れると、自分を支えることにつながると思っています。

また、利用者の方との別れが急に来ることがあります。そんな時、その方との関わり方で全く後悔しないという事は難しいかも知れませんが、別れが来たときに、後悔よりも「十分にお世話することができて良かった」と思える事が多くなるように、その時その時を大切に利用者の方や地域・家族と接していきたいと思っています。

どんな話が聞けるの？

これまでの講座内容を一部ご紹介します。

「ありがとう」という魔法の言葉が聞ける仕事です

特別介護老人ホーム すずらんの里
社会福祉士 田上 綾子さん



高校時代になんとなく「人の役に立てる仕事がいい」と思い、福祉系の大学に進学しました。在学中、自宅にいた相母が、誰も気が付かない間に肺炎をこじらせて病院で亡くなり、自分の力が足りなかったことが悔やまれました。そのことが、具体的に高齢者支援の仕事を選ばきっかけとなりました。

介護の仕事の魅力は、利用者の方から「ありがとう」という魔法の言葉を聞けることです。どうすれば利用者の方に気持ち良く過ごしていただけたら、正解はひとつではないので、それを自分で考える力をつけることもできます。みなさんのご面倒が介護が必要になったときに親孝行することもできますね。

また将来の目標が決まっていなくても、今興味があることに夢中になったり、友達とたくさん話をしたり、いろいろな体験をすることで、学びたいことがきつくと戻つてくると思っていますので、今できることを精一杯頑張ってください。

不安や不満の感情を感じ取ってあげてください

特別介護老人ホーム 川辺川園
生活相談員 山下 雄太郎さん



大学を卒業後、川辺川園に就職して6年目になります。施設長からずつと言われていることは、「ことば掛け」の大切さです。車椅子を動かすとき、利用者の方の身体に触れるとき、目線を合わせて優しく声をかけてからでないと利用者の方を怖がらせてしまいます。

こちらから掛ける言葉にももちろん配慮が必要ですが、例えば「おはようございます」といって、「いいですよ」と仰っていても表情がうつろったり、「ありがとう」と仰いながら顔はそっぽを向いている、言葉には出て来ない不安や不満といったマイナスイメージ、利用者の方とお話をするときには感じ取ってあげてください。

また、自分が介護をする上で一番大切にしているのは「ケガをさせない」ということです。お年寄りは一度骨折すると、そのまま歩けなくなってしまうこともあります。ことは掛け一つ、対応一つでそれを防ぐことにつながります。

どんな職場があるの？



高齢者分野の社会福祉施設の種類の種類(一部抜粋)

施設・サービスの種類	施設・サービスの内容
特別養護老人ホーム	要介護者に対し、施設サービス計画に基づいて、食事・入浴・排泄等の介護、日常生活上必要な援助、機能訓練、健康管理および療養上の援助を行う。
養護老人ホーム	65歳以上で身体上、精神上または環境上の理由および経済的理由により、家庭での生活が困難な人が入所する。
デイサービスセンター (通所介護事業所)	居宅で生活している要介護者、要支援者に、入浴・食事の提供、日常生活上必要な援助、機能訓練を行う通所施設。
介護老人保健施設	要介護者に対し、施設サービス計画に基づいて、看護、医学的管理下における介護および機能回復訓練、その他必要な医療ならびに日常生活上必要な援助を行う。 ※長期入院患者の退院後の家庭復帰を促進するための施設
認知症高齢者グループホーム	比較的安定した状態にある認知症の高齢者に対し、共同生活を送っている住居で、入浴・排泄・食事等の介護、日常生活上必要な援助を行う。

障がい者分野の社会福祉施設の種類の種類(一部抜粋)

施設・サービスの種類	施設・サービスの内容
生活介護	常に介護を必要とする人に、風呂、入浴、排泄、食事の介護等を行うとともに、創作的活動または生産活動の機会を提供する。
就労移行支援	一般企業等での就労が困難な人に、一定期間、就労に必要な知識及び能力の向上のために必要な訓練を行う。
就労継続支援 (A型・B型)	一般企業等での就労が困難な人に、働く場を提供するとともに、知識及び能力の向上のために必要な訓練を行う。
共同生活援助 (グループホーム)	夜間や休日、共同生活を行う住居で、相談や日常生活上の援助を行う。

※これら以外にも色々な活躍できる職場があります。

福祉の仕事を手試してみたい！



職場体験事業のご案内

対象となる方
将来、介護・福祉関係の資格取得や就職を希望する学生等、福祉の仕事に関心のある方

体験の内容
体験していただく分野・福祉事業所によって体験内容は異なりますが、1日8時間以内で実際のお仕事を体験していただきます。
(1人10日以内)

体験先事業所
受入事業所一覧からお選び頂けます。
(一覧にない事業所への体験をご希望される場合は相談に応じます)
※児童分野の体験は出来ません。

費用
参加費は無料です。
ただし、交通費、食事代などは自己負担です

お問合せ・ご相談は

社会福祉法人 熊本県社会福祉協議会
熊本県福祉人材・研修センター
〒860-0842 熊本市中央区南千反畑町3番7号
(熊本県総合福祉センター4階)

TEL.096-322-8077
FAX.096-324-5464



●開所日…月曜日～金曜日 午前9時～午後5時(休憩 正午～午後1時)
●休業日…土曜・日曜・祝日・年末年始(12/29～1/3)



福祉の仕事のやりがい。
楽しさを伝えたい



福祉の仕事 出前講座

平成27年度 子どものための福祉講座（青少年福祉の心醸成事業）

実 施 要 綱

1. 目的

小・中・高校生に対して、福祉入門講座等を開催し、高齢者や障がいのある人々に関心を持つ機会を提供し、人を思いやる豊かな心や想像力、また誰もが安心して暮らしていける地域社会を創造する力を育むことを目的とする。

2. 実施主体

講座を希望する各学校からの依頼を受けて、大分県社会福祉介護研修センター（以下「研修センター」という。）が実施する。

3. 実施場所

この事業は、研修センター及び各小・中・高等学校、公民館等で実施する。
（※ただし、小・中・高等学校、公民館にて実施する場合は要相談とする。）

4. 対象者

この事業の対象者は、以下のとおりとする。

- (1) 県内の小学生・中学生・高校生
- (2) 事業内容により、その対象児童・生徒の保護者

5. 事業内容

コース	半日コース	1日コース	親子ふれあいコース
時間	1～3時間 (午前または午後)	3～6時間	1～6時間 (午前・午後・1日)
実施回数	随 時（申込は12月末まで）		
人数	特に制限なし（要相談）		
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者疑似体験 ・ 視覚障害者体験 ・ 車いす体験 ・ 介護体験 ・ 福祉用具展示場見学 ・ 認知症サポーター養成講座 ・ 手話体験 <div style="text-align: right; margin-top: 10px;"> 等 } この中から希望する体験を選択。 </div>		

6. 事業の実施方法

日程調整が必要となるため、希望する場合は電話等により事前に、介護研修センター宛に申し込むものとする。

7. 各事業内容の詳細

各事業内容の詳細は、以下のとおりとする。

事業内容	事業効果
<p>【高齢者疑似体験】 疑似体験セットを使い、80歳の高齢者になりきって、日常行動（階段の昇降、衣服の着脱等）を体験する。 （実習費として1人200円が必要）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の心と体の変化、特徴を体感することができる。 ・高齢者が日常生活で感じている不便さ等が理解でき、自分たちにできる手助けを考えることができるようになる。
<p>【視覚障害者体験】 アイマスクを装着して、介助者とともに歩行体験を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・視覚障害者の気持ちを理解し、介助者の重要性、介助者との信頼関係の大切さ等を学ぶ。 ・体験を通して点字ブロックの上に自転車を停めない等、自分たちの日常生活における支援方法を考えることができる。
<p>【車いす体験】 車いすに乗ったり、介助者として操作しながら、スロープや段差などのコースを体験する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・車いすの安全な操作方法を学習できる。 ・車いす利用者が感じている不便さ等を理解し、自分たちにできる支援方法を考えることができる。
<p>【介護体験】 体の動かし方（寝返り、起き上がり等）を体験し、介護について学ぶ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・体への負担が軽くなる寝返り、起き上がり方法や、介護予防について学習できる。
<p>【福祉用具展示場見学】 高齢者や障がい者が使用する福祉用具等を見学。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者や障がい者が使用することで、不便さが解消したり、自立に繋がる道具を見学することができる。
<p>【認知症サポーター養成講座】 テキスト「認知症ってなあに？」や寸劇を通して、認知症に関する知識と理解を深める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症に関する正しい知識を身につけることができる。 ・受講後には認知症サポーターの証としてオレンジリングを配布。 ・認知症サポーターとして、地域の認知症高齢者の見守りや関係機関への連絡が円滑になり、安心して暮らせる地域づくりに貢献できる。
<p>【手話体験】 聴覚障害者の方の話を聞いたり、簡単にできる手話を学習する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本人の体験談などを聞くことで、聴覚障害者の気持ちや抱えている問題等を理解できる。 ・簡単な手話を学習することで、日常生活においても積極的かつ主体的に関わっていく気持ちが生まれる。

※上記以外の内容を希望する場合は、要相談とする。

※高齢者疑似体験は実習費として1人200円の実費が生じるが、その他の事業は無料で実施する。

「11月11日」は、いい日いい日「介護の日」です

「介護の心」シンポジウム

～ 介護をする人、される人、そして見守る家族 ～



【目的】

介護福祉士の仕事は、「介護」を必要とされる一人ひとりの方が、心豊かに安心して暮らせるための生活援助であり、そこには心ゆさぶる魅力と人との繋がりがあります。

この研修は、第1部として、学生の方をはじめ広く県民の皆様には有識者による「介護の心」をテーマとした講演を提供し介護の必要性和魅力を知って頂き、第2部にて「介護が必要になっても、地域で暮らし続けるための知恵と覚悟」と題し、現状を見据えた専門家による講義を行います。

さらに第3部のシンポジウムにおいて、これから介護現場で働く学生、現役の介護従事者、介護施設管理者により「介護現場」の夢と今について発表頂き、専門家も交え、介護をする人、される人、そして見守る家族、介護業務従事者が充実した介護を行うための社会の構築と理解を目指し開催いたします。

第1部 講義『わたしの名前は希望です』～いま、介護する人になって～

いのちに向き合う、その視点から古巣氏が皆様の心に語りかけます。

第2部 講義『介護が必要になっても、地域で暮らし続けるための知恵と覚悟』

高齢者やその介護者・施設を取り巻く現状や問題点を分かりやすく解説いたします。

第3部 シンポジウム シンポジスト3名の発表

これから介護の現場に羽ばたこうとされている学生の方、介護現場で日々業務をされている介護福祉士の方、福祉事業所の管理者の方、それぞれの立場における思いを発表して頂いた上で、制度改正が介護の現場にもたらす影響を専門家の方を交え意見交換会を行います。

開催日時 平成27年11月15日(日) 午前10時00分から午後4時30分まで (受付9:30～)

会場 宮崎シーガイア ワールドコンベンションセンター 3F 瑞洋
宮崎市山崎町浜山 TEL (0985) 21-1251

参加対象 学生 介護職を就職希望の方 介護に興味・関心のある方 一般の方々

定員 200名 (お申込み先着順)

締切り日 平成27年11月6日(金) 必着

参加費 無料

平成27年度「地域医療介護総合確保基金事業」として宮崎県より委託を受け開催致します。

申込方法 参加申込書にてお申し込み下さい。

* 受講票の送付はありませんので、直接、開催会場へお越し下さい。

* 定員に達し参加不可能な方にのみ文書にて「満席により参加不可」の通知をいたします。

昼食 各自でご用意下さい。

* 研修会場内でのみ、持参のお弁当を食べて頂く事が可能です。

* 研修会場内には売店がありませんので、昼食は持参される事をお勧めいたします。

プログラム

時 間	内 容
9：30～10：00	受 付
10：00～11：30	講義 『わたしの名前は希望です』～いま、介護する人になって～ 講師 古巣 馨 氏 長崎純心大学 人間心理学科 教授 カトリック司祭
11：30～12：30	休 憩
12：30～14：30	講義 『介護が必要になっても、地域で暮らし続けるための知恵と覚悟』 講師 久留 善武 氏 シルバーサービス振興会 企画部長
14：30～14：45	休憩・会場設営
シンポジスト発表 14：45～15：30 (各15分ほど)	【シンポジウム】～～介護福祉士の思いと働く現状・施設管理の状況について～～ 助 言 者 久留 善武 氏 シルバーサービス振興会 企画部長 コーディネーター 黒木 茂夫 氏 特別養護老人ホーム皇寿園 施設長
15：30～15：40 (休 憩)	【シンポジスト発表】 『キャリア段位制度に取り組んで』 古川 樹美 氏 グループホーム にじの樹 管理者
15：40～16：30 (ディスカッション)	『日常業務と利用者への想いにはさまれて』 伊勢 奈津美 氏 ちっちゃなお家 みづき 介護職員 『私の目指す介護福祉士像』 山口 沙織 氏 宮崎医療管理専門学校 介護福祉科 2年
16：30	終 了

【申込・問合せ先】 一般社団法人 宮崎県介護福祉士会
〒880-0007 宮崎市原町2番22号 宮崎県福祉総合センター 人材研修館内
TEL 0985-22-3710 FAX 0985-22-3711
E-mail: kenkaifuku1993@rhythm.ocn.jp
URL: <http://www.miyakai.jp/>

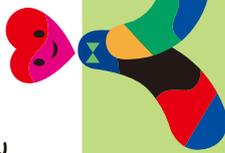
宮崎県福祉人材センター

宮崎県福祉人材センター（福祉人材無料職業紹介所）では、福祉の職場で働きたい方へ、事業所のあっせんや福祉の仕事・資格についての相談などに無料で応じています。

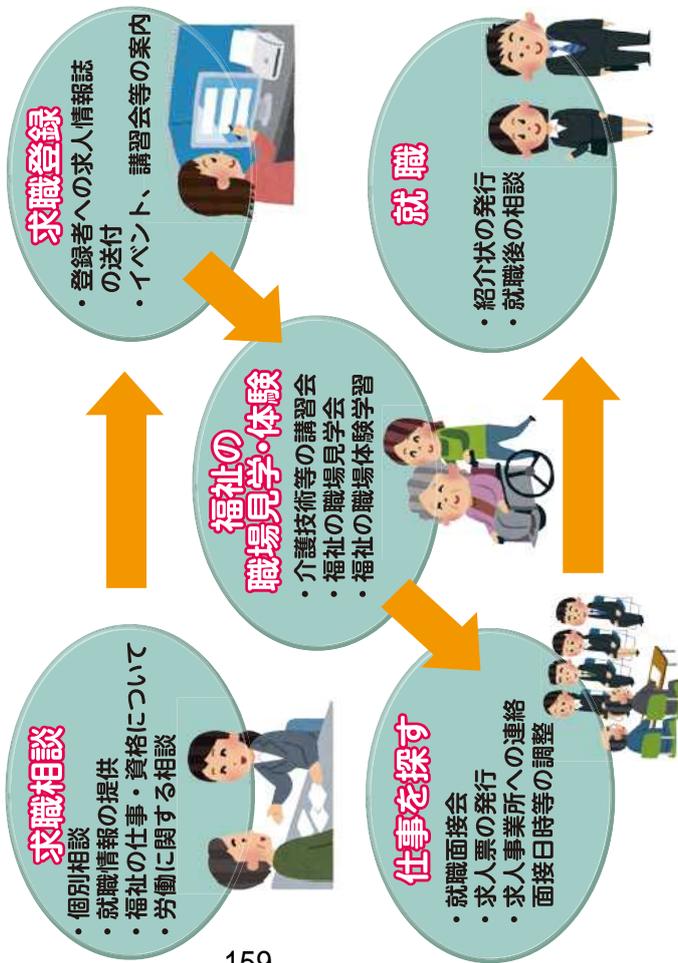
また、就職支援のための様々な事業を行っています

主にこんな仕事があります

- 介護職 ●相談・支援 ●指導員 ●介護支援専門員 ●保育士
- 看護職 ●セラピスト（理学療法士・作業療法士） ●栄養士
- 調理員 ●事務員 など



お一人おひとりに応じた就職相談を行います！



PROFESSIONAL SERVICE

福祉のお仕事 ホームページにアクセスしてください！！

社会福祉法人 宮崎県社会福祉協議会 宮崎県福祉人材センター

《開所日》平日 9:00～17:00 / 土曜 9:00～16:00 ※祝日・年末年始を除く

住所：〒880-8515 宮崎県宮崎市原町 2-22 宮崎県福祉総合センター 人材研修館 1階

TEL:0985-32-9740 FAX:0985-27-0877 URL <http://www.mkensha.or.jp>

福祉の職場 見学バスツアー

★福祉の仕事に興味がある方・福祉の仕事に就きたい方、バスツアーに参加してみませんか。実際に現場を見て知る事で今後の活動にきっと役立つはずです。ぜひ、ご参加下さい！！

第1回 平成27年10月27日（火） 9:30～16:00

- 社会福祉法人 巴会 障害者支援施設あすなろの里 阿波岐ヶ原通所センター
- 社会福祉法人 宮崎福祉会 児童養護施設みんせいかん
- 社会福祉法人 日向更生センター 特別養護老人ホーム 皇寿園

第2回 平成27年11月13日（金） 9:30～15:30

- 社会福祉法人 善仁会 特別養護老人ホーム 仁の里 障害者支援施設 愛生園
- 社会福祉法人 石井記念友愛園 児童養護施設 石井記念友愛園

日時 & 見先

対象者 福祉分野に興味のある方・就労を希望する一般の方と学生

定員 25名 ※定員になり次第締め切りますので、ご了承ください。

応募締め切り 第1回 10月13日（火） 必着

第2回 10月30日（金） 必着

参加費 無料 ※昼食はお弁当を用意します。 ※集合場所までの交通費は自己負担になります。

集合場所 宮崎県福祉総合センター 人材研修館2階 介護研修室

持ち物 メモ・筆記用具

申込み方法 電話・郵送・FAXまたは、宮崎県福祉人材センター窓口

お申込先

社会福祉法人 宮崎県社会福祉協議会 宮崎県福祉人材センター

住所：〒880-8515 宮崎県宮崎市原町 2-22 宮崎県福祉総合センター 人材研修館 1階

電話：0985-32-9740 FAX：0985-27-0877

【主催：社会福祉法人宮崎県社会福祉協議会 宮崎県福祉人材センター】

FAX:0985-27-0877

魅力発見
「福祉の職場見学会」バスツアー 参加申込書

申込日 平成27年 月 日

希望日	() 第1回コース (10月27日：火曜日) () 第2回コース (11月13日：金曜日) ※希望日に○を付けて下さい。両日参加希望の場合は、第1希望の()に1を、第2希望の()に2を入れてください。一方に申込みが集中した場合、調整いたします。	性別	男・女
フリガナ		年齢	歳
氏名		現在の状況	・一般 (求職中・在職中) ・学生
住所	〒	福祉人材センター登録有無	有・無
電話番号	※必ず連絡が取れる番号をご記入ください。	緊急連絡先 (ご自宅など)	
緊急連絡先		学校名 (学生の方のみ記入)	高等学校 専門学校 大学、短期大学
備考	(訪問事業所に聞いてみたい事などでも可)		

※記載していただいた個人情報、本事業の運営及び福祉に関する情報提供以外の目的に使用することはありません。
※申込締切後に参加決定通知を送付いたしますので、住所・電話番号は記入漏れがないよう宜しくお願いいたします。



申込み及び問合せ先
社会福祉法人 宮崎県社会福祉協議会 宮崎県福祉人材センター
 〒880-8515 宮崎県宮崎市原町2-22 宮崎県福祉総合センター 人材研修館1階
電話：0985-32-9740 FAX：0985-27-0877
 ホームページアドレス <http://www.mkensha.or.jp>

見学スケジュール予定 ※スケジュールは都合により若干変更する場合がございますのでご了承ください。

10月27日(火) 第1回コース (予定)

- 09:30 集合・受付 (宮崎県福祉総合センター)
- 10:00 出発 (巴会へバス移動)
- 10:30 あすなろの里 阿波岐ヶ原通所センター 職場見学
- 12:00 昼食・休憩
- 12:50 移動 (宮崎福祉会へバス移動)
- 13:00 みんせいいかん 職場見学
- 14:00 移動 (日向更生センターへバス移動)
- 14:10 皇苑園 職場見学
- 15:10 宮崎県福祉総合センターへバス移動
- 15:30~ アンケート記入後、解散

11月13日(金) 第2回コース (予定)

- 09:30 集合・受付 (宮崎県福祉総合センター)
- 10:00 出発 (善人会へバス移動)
- 10:50 仁の里・愛生園 職場見学
- 12:00 昼食・休憩
- 13:00 移動 (石井記念友愛社へバス移動)
- 13:10 石井記念友愛園 職場見学
- 14:10 宮崎県福祉総合センターへバス移動
- 15:00~ アンケート記入後、解散

＝見学先の施設より＝

★障害者支援施設 あすなろの里★

明日につながる一歩を1〜地域生活の実現に向けて～を合言葉に、入所・通所併せて105名が、生活介護・自立訓練(生活訓練)、就労移行支援、就労継続支援B型の4事業で、作業訓練や余暇活動に取り組んでいます。また市内9カ所で開催しているグループホームのサポート拠点でもあります。設立から32年を駆け抜け積み上げた支援環境や利用者様が生き生きと活動できる様子を是非ご覧ください。

★障害福祉サービス事業所 阿波岐ヶ原通所センター★

宮崎市のジョー・ガイアリゾート付近に位置し、市民の発祥フロア・ラン宮崎高等専門学校に誘われた事業所です。平成6年9月に開設し、昨年の9月で20周年を迎え、現在は知的障がい者の通所事業所として生活介護事業・地域活動支援センター1型事業・日中一時支援事業を展開しています。利用者の皆さんの在宅生活を支えると共に生きがいを持って過ごしながら毎日楽しく生活できるように職員が一丸となり取り組んでいます。

★児童養護施設 みんせいいかん★

社会的養護を担う施設として、30名の子どもたち(現在3歳～18歳まで)の養育・支援に取り組んでいます。「家」であり、「あたりまえの生活」を保障し、より家庭的な環境になるよう配慮しています。職員は、子どもと生活を共にしながら、寄り添い歩むという家庭のような存在となります。子ども達の成長を直に感じることできることもやはり甲斐のある仕事です。

★特別養護老人ホーム 皇寿園★

昭和44年、県内初の特別養護老人ホームとして設立され、今日まで長い歴史を刻みまわりました。当施設はお年寄りの生活はもちろん、将来の介護人材の育成に向けた多くの若手生手の受入や地域との交流事業にも力を注いでおり、近隣の方が多い、気軽に利用していただける場所になれればと考えております。

★複合型施設 仁の里★

平成24年7月1日に障害者支援施設愛生園の移転に伴い、地域密着型介護老人福祉施設仁の里を合築し開設した福祉施設です。愛生園は定員60名(完全個室)で主に身体に障がいのある方がご利用され、仁の里は定員27名(9名3ユニット)で定員12名のアイサービスを提供しています。同一建物にあることから往来も自由で、一体的な行事の開催や日常的な交流もあり、活性化を図る一助となっております。善心会は、他にも宮崎リハビリテーションセンターと特別養護老人ホームむかひをつかむを運営しております。

★児童養護施設 石井記念友愛園★

家庭に事情があり家で生活できない子ども達(2～18歳 定員49名)に対し、親代わりとして養育を共にしながら、子ども達の養育(しつけ、教育)をしています。子ども達も通所生活しながら、地域の小学校、中学校、高校等に通学するのですが、子ども達の成長に寄り添うことのできる、やりのいのある仕事です。石井記念友愛社では今年度、高原町にも新たに児童養護施設(神武の家(定員20名))を建設します。(平成28年度開設)

●集合・解散ともに
集合場所になります。

※駐車場には限りがあります。車で越越しの際はできるだけ乗り合わせたいいただくか、なるべく公共交通機関をご利用頂きますようお願いいたします。

●集合・解散場所(宮崎)



福祉の仕事・出前講座

福祉人材センター職員や介護福祉士、社会福祉士、保育士など福祉の職場で働く職員が講師となり、「福祉の仕事」の具体的な内容や必要となる資格、将来性などについて分かりやすくお話しします。また、仕事を選んだきっかけや仕事の楽しさ、面白さなどについて体験談をお話します。

キャリア教育や職場体験、疑似体験等の事前学習、福祉分野への進学・就職といった進路選択の情報を得る場等にご活用いただけます。

- 対 象 宮崎県内の中学校・高等学校の生徒（全学年対象）
 開 催 時 期 随時受付
 開 催 形 態 クラス単位、学年単位、希望者を集めてなどご要望に応じます。
 内 容 (例)

「福祉の仕事ってどんな仕事？」

- ・どんな種類があるの？
- ・どんな資格が必要なの？
- ・将来への展望は？ 給料は？ etc

「福祉の職場で働く魅力」

- ・どうして福祉の仕事を選んだの？
- ・どんな仕事をしているの？
- ・仕事のやりがい？ 楽しさは？ etc

※内容や時間など、ご要望に応じています。
ご相談ください。

費 用 無料

〔※但し、セミナーの開催場所となる
 会場の確保をお願いいたします。〕

お申込み方法 「申込書」に記入の上、FAXにてご送信ください。

お申込み・お問合せ先

〒880-8515 宮崎市原町 2-22

県福祉総合センター人材研修館内

社会福祉法人 宮崎県社会福祉協議会 宮崎県福祉人材センター

Tel 0985-32-9740 Fax 0985-27-0877



※平成26年度の出前講座の様子



みやざき犬使用許可第250288号

【申込み先 FAX 番号】 0985-27-0877 宮崎県社会福祉協議会 宮崎県福祉人材センター行き

「福祉の仕事・出前講座」申込書

平成 年 月 日

学校名	
住所	〒
電話番号	
FAX 番号	
E-mail アドレス	
ご担当者名	職名 氏名

	希望日時	参加学年	参加（予定）人数	開催場所
第1希望	月 日（ ） : ~ :	年	名	
第2希望	月 日（ ） : ~ :	年	名	

ご要望・ご質問等がありましたらご記入ください。

【注意事項】

講師の調整などがあるため、なるべく開催希望日の1ヶ月前までにお申し込みください。

申込書を FAX で送信後、受信確認のため宮崎県社会福祉協議会宮崎県福祉人材センターまでお電話をお願いします。



お問合せ及びお申込み先

社会福祉法人宮崎県社会福祉協議会 宮崎県福祉人材センター

〒885-8515 宮崎市原町 2-22 宮崎県福祉総合センター人材研修館 1階

Tel.0985-32-9740

Fax0985-27-0877

平成27年度
介護の仕事チャレンジ事業

介護施設等 見学バスツアー

参加できる方

学生、一般の方で福祉・介護分野へ就職を希望する方、
また、福祉・介護に関心のある方なら、どなたでも参加
できます。(小中高校生の参加も可、親子での参加も可)

参加費
無料

ただし、集合場所までの交通費
及び昼食代(500円)は
各自負担

■鹿児島コース

平成27年 **12月19日(土)** 午前10時～午後4時

※交通事情により、時間が変更になる場合があります。

集合場所 鹿児島中央駅西口

集合時間 午前9時50分

※詳細は、参加決定書で
お知らせします。

訪問施設

【老人福祉施設】

社会福祉法人 喜入会 **喜入の里** (鹿児島市喜入前之浜町)

【障害者支援施設】

社会福祉法人 常盤会 **しろやまの風** (鹿児島市下福元町)

定員 25名 ※定員になり次第、締切

申込締切 12月11日(金)必着

申込方法 裏の申込書に必要事項を記入し、郵送・持参・FAXで提出してください。

■その他

- 参加者には、事前に参加決定書を送付します。
- 参加者は、全員ボランティア行事用保険に加入していただきます。
(県社協負担)

お申し込み・お問い合わせ先

社会福祉法人 鹿児島県社会福祉協議会 福祉人材・研修センター

〒890-8517 鹿児島市鴨池新町1番7号 (県社会福祉センター内)

TEL.099-258-7888 ¹⁶³ FAX.099-250-9363

介護施設等見学バスツアー参加申込書

鹿児島県：参考資料 1

社会福祉法人鹿児島県社会福祉協議会会長 様

平成 年 月 日

鹿児島コース 平成27年12月19日(土)

ふりがな		年 代 (○で囲む)
氏 名		10代・20代・30代 40代・50代・60代以上
ふりがな		年 代 (○で囲む)
氏 名 (親子で参加等の場合 記載してください。)		10代未満・10代・20代 30代・40代・50代 60代以上
連 絡 先	〒	
	自宅電話	※緊急に連絡を差し上げる場合 もありますので、差し支えな ければ、携帯電話の番号もご 記入ください。
	携帯電話	

※ご記入いただいた個人情報は、本事業の運営及び就職支援以外の目的には使用しません。

※参加申込書に必要事項を記入の上、持参または郵送・FAXで提出してください。

申込締切 / 平成27年12月11日(金)必着

お申し込み先

社会福祉法人 鹿児島県社会福祉協議会 福祉人材・研修センター

〒890-8517 鹿児島市鴨池新町1番7号 (県社会福祉センター内)

TEL.099-258-7888 ¹⁶⁴FAX.099-250-9363

平成27年度

福祉職場就職支援講座 受講生募集！

受講料
無料

チャレンジ
してみませんか！

福祉職場に就職・復職を希望する方々を対象に、福祉についての理解を深めてもらうとともに、福祉職場で働くために必要な知識や技術、就職活動の方法などを学ぶための連続講座を開催します。

講座プログラム(全3回) 各回定員50名 申込み先着順

講座プログラム(全3回)

回	日時	内容	講師	場所
第1回	11月14日(土) 13:15~13:30	開講式 オリエンテーション	社会福祉法人鹿児島県社会福祉協議会	かごしま県民 交流センター 東棟2階 介護実習室
	13:30~16:00	「介護の方法と体験(演習)」 ・立位・移動・移乗介護 ・衣服の着脱の介護 など	一般社団法人鹿児島県介護福祉士会 介護福祉士 福島 勝子氏 介護福祉士 西郷 ヨシ子氏	
第2回	11月21日(土) 13:15~14:45	「福祉の基礎知識」 ・福祉の仕事とは？ ・人間関係を良好に保つには？ など	公益社団法人鹿児島県社会福祉士会 社会福祉士 森田 善博氏 (社会福祉法人更生会障害者支援施設 慈生園副施設長)	鹿児島県社会 福祉センター 6階研修室
第3回	11月21日(土) 15:00~16:30	「福祉・介護分野で働くために」 ・高齢者福祉の背景と動向 ・介護の基本原則 ・介護福祉士について など	一般社団法人鹿児島県介護福祉士会 介護福祉士 福島 勝子氏	

【注】 第1回の「介護の方法と体験(演習)」を受講される方は、動きやすい服装でご参加ください。

第1回(11月14日)の会場

かごしま県民交流センター (鹿児島市山下町 14-50)
介護実習室(東棟2階)

交通アクセス

- ・市電「水族館口」下車、徒歩4分
- ・JR「鹿児島駅」下車、徒歩10分
- ・バス「水族館口」下車、徒歩5分

第2回と第3回(11月21日)の会場

鹿児島県社会福祉センター (鹿児島市鴨池新町 1-7)
(6階研修室)

交通アクセス

- ・市電「郡元」「鴨池」下車、徒歩12分
- ・バス「県庁前」下車、徒歩3分、
「市営プール前」下車、徒歩10分など

- お申し込みの方法：ウラの受講申込書に必要事項をご記入の上、持参または郵送、メールで提出してください。
- お申し込みの期限：平成27年10月23日(金) 必着。締め切りのおと、受講決定通知を送付します。
- お申し込み・お問い合わせ先：

社会福祉法人 鹿児島県社会福祉協議会 福祉人材・研修センター

〒890-8517 鹿児島市鴨池新町1-7 県社会福祉センター6階

TEL 099(258)7888 FAX 099(250)9363

(E-mail) jinzai-gyo@kaken-shakyo.jp (HP) http://www.kaken-shakyo.jp/

平成27年度「福祉職場就職支援講座」受講申込書

社会福祉法人鹿児島県社会福祉協議会会長 殿

平成27年 月 日

ふりがな			性別	男 ・ 女 (○でかこむ)	
氏名			年代	10代 ・ 20代 ・ 30代 40代 ・ 50代 ・ 60代以上 (○でかこむ)	
連絡先	住所	〒 鹿児島県			
	電話	(自 宅) ----- (携帯電話)	* 緊急に連絡を差し上げる場合もありますので、 <u>差し支えなければ</u> 携帯電話の番号もご記入ください。		
福祉・介護職歴の有無		(○でかこむ) 有 ・ 無			
福祉関係資格 (資格をお持ちの方は○印を付けてください。)		有 (該当する資格を○で囲んでください。)		無	
		介護福祉士	社会福祉士	社会福祉主事	
		介護支援専門員	保育士	ホームヘルパー	
		看護師	栄養士	調理師	
		その他 ()			
※ 受講を希望される講座に○印をつけてください。できるだけ連続で受講してください。					
受講希望講座	○印	回	期 日	内 容	会 場
		第1回	11月14日(土) 13:30~16:00	介護の方法と体験 (演習)	かごしま県民交流センター
		第2回	11月21日(土) 13:15~14:45	福祉の基礎知識	鹿児島県社会福祉センター
		第3回	11月21日(土) 15:00~16:30	福祉・介護分野で働くために	

※ 11月14日の第1回講座の始まる前に、開講式・オリエンテーション(13:15~13:30)がありますので、出席をお願いします。

注1 「受講申込書」にご記入いただいた個人情報は、本講座の実施の運営管理の目的にのみ使用します。

注2 受講申込書に必要事項をご記入の上、持参または郵送・FAX・メールで提出してください。

(申込締切日 平成27年10月23日(金))

【お申し込み先】

社会福祉法人 鹿児島県社会福祉協議会 福祉人材・研修センター
 〒890-8517 鹿児島市鴨池新町1-7 県社会福祉センター6階
TEL 099(258)7888 FAX 099(250)9363
 (E-mail) jinzai-gyo@kaken-shakyo.jp

校区近隣の介護施設の介護職員が 学校を訪問します！

子どもたちの情操教育をお手伝い！



- 年をとるとどうなるの？
- 認知症って？
- 介護のお仕事って？



学校に出向いて子どもたちにお話しします。
学校の経費の負担はありません。

今、なぜ介護なのか？

現在の小学生の祖父母は70歳代

まだまだ元気！

10年後の2025年は80歳代(要介護)

団塊世代がいっせいに要介護状態に！

10年後の社会の
キーワードは「介護」



お問い合わせ先

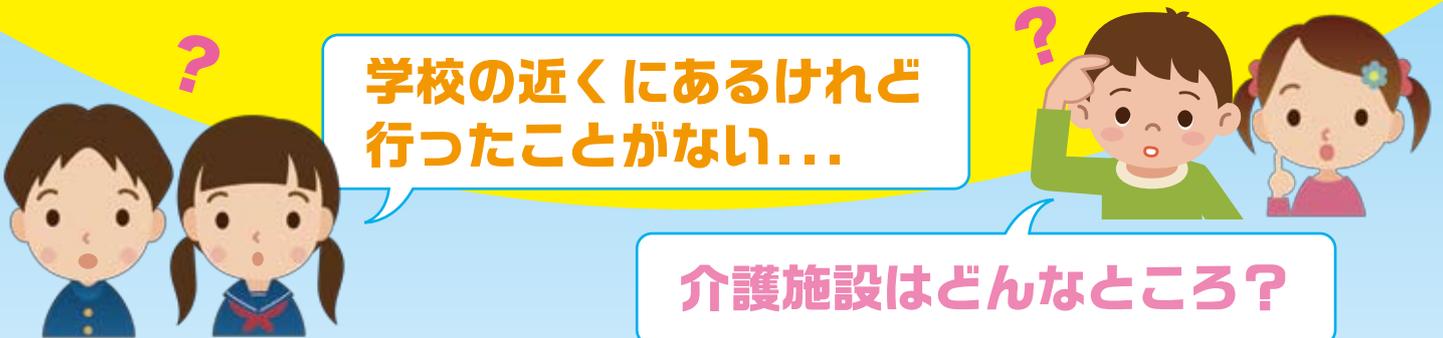
社会福祉法人 鹿児島県社会福祉協議会 福祉人材・研修センター

〒890-8517 鹿児島市鴨池新町1番7号（県社会福祉センター内）

TEL 099-258-7888 FAX 099-250-9363

E-mail: jinzai-gyo@kaken-shakyo.jp

校区近隣の介護施設に行ってみませんか？



施設の中を
見学する

お年寄りの
生活を知る

介護職員の
仕事を学ぶ

施設利用者とふれあうことで
子どもたちの情操教育のお手伝いをします！

保護者も
ご一緒に
参加できます。

学校まで送迎
いたします。



お問い合わせ先

社会福祉法人 鹿児島県社会福祉協議会 福祉人材・研修センター

〒890-8517 鹿児島市鴨池新町1番7号（県社会福祉センター内）

TEL 099-258-7888 FAX 099-250-9363

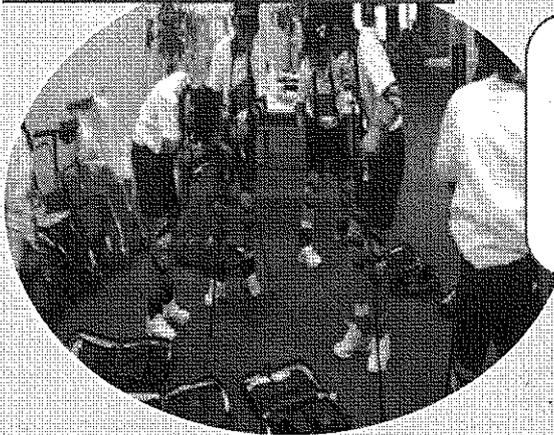
E-mail: jinzai-gyo@kaken-shakyo.jp

地域ジュニア福祉体験教室 ご案内

高齢者疑似体験や車いす体験などを通して、学校や地域で困っている人を見かけた時に、“自分には何ができるかな”と考えるきっかけづくりを行います。

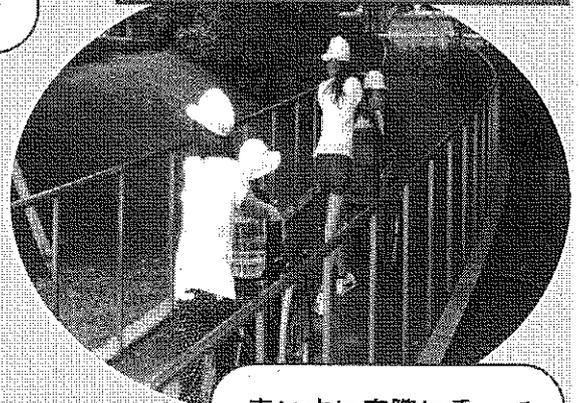
鹿児島県介護実習・普及センター職員が、皆様の学校を訪問します！

高齢者疑似体験



体の動かしづらさや、目の見えにくさを体験し、高齢者の気持ちを考えましょう。

車いす体験



車いすに実際に乗ってみたり、動かしてみたりすることで、車いすがどんな役割や機能を持っているか考えましょう。

ユニバーサルデザイン・自助具体験



日常生活を便利にする道具や、障がいのある方の自立を助ける道具に触れてみましょう

●所要時間・・・「高齢者疑似体験」や「車いす体験」等で2時間程度です。

●費用・・・無料 (1つの体験だけでも実施できます。)

お申し込みは、裏面の様式にご記入の上、FAXでお送りください。

鹿児島県介護実習・普及センター

〒892-0816 鹿児島市山下町14-50 (かごしま県民交流センター内)

TEL：099-221-6615 FAX：099-239-0384

E-mail：kaigo-kakenshaky@po5.synapse.ne.jp